



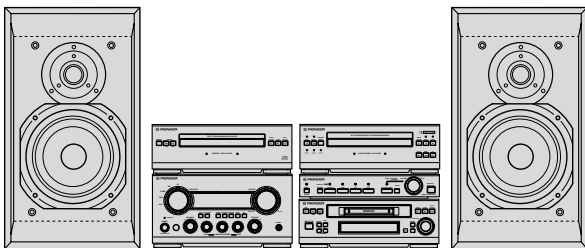
X-RMXY3MD



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。



この取扱説明書は、下記の機器を説明しています。

ステレオチューナーアンプ	SX-R9
コンパクトディスクプレーヤー	PD-R9
リミックスコントローラー	EF-R5
スピーカーシステム	S-R3V-LR
ミニディスクレコーダー	MJ-R5
ステレオカセットデッキ (別売)	CT-R5

高調波ガイドライン適合品

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

取扱説明書

安全上のご注意

2ページ

接続のしかたや、操作前に知っておいていただきたいことを説明しています。

準備

音を出したり、録音したりして楽しむための説明をしています。

基本操作

MDの編集のしかたについての説明です。

MD編集

便利な機能や、おもしろい機能を説明しています。

応用操作

REMIX(リミックス)の楽しみかたの説明です。

リミックス

故障かな?と思ったら
アフターサービスについて

その他

安全に正しくお使いいただくために 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意 （別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

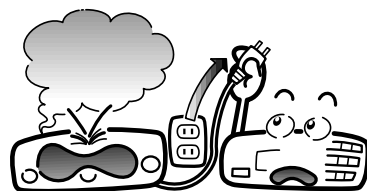
警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。






プラグを抜け



もくじ

	安全上のご注意	2		自動編集録音 (A.S.E.S.) のしかた	48
準備	こんなことができます	4	応用操作	操作のしかた	49
	付属品の確認	4		ASES ERROR の表示が出たときは	50
	設置のしかた	5		リミックスで CD を MD または テープにアクセスする	51
	接続のしかた	6		タイマーの使いかた	52
	各部のなまえ	11		好きな音楽で目覚める	52
	MD、CD、テープの取扱いかた	16		ラジオ放送または外部入力を 留守録音する	53
基本操作	時計を合わせる	19	リミックス	REMIX (リミックス) を楽しもう!!	57
	電源を入れる / 演奏する / 音質を変える	20		リミックスでできること	57
	ラジオ放送を聞く	21		演奏の速さを変えよう	59
	CD を聞く	23		拍子数 (BPM) を測ってみよう	59
	テープを聞く	25		キューを使って瞬時に音出しをしよう	60
	テープに録音する	27		気に入ったフレーズを連続リピートしよう	62
	MD を聞く	28		気に入ったところをサンプル録音して、 演奏に重ねよう	63
	MD に録音する前にお読みください	30		オリジナルノンストップ MD を作ろう	64
	MD に録音する	33	その他	表示部のコントラストの調整のしかた	69
MD 編集	MD 編集機能の使いかた	39		故障? ちょっと調べてください	70
	編集メニューについて	39		日ごろのお手入れ	72
	編集メニューの選択	40		仕様	73
	1 つの曲を 2 つに分ける	41		アフターサービス	74
	2 つの曲を 1 つにつなぐ	41		デモモードについて	裏表紙
	曲の途中をつなぐには	42			
	曲を移動する	43			
	曲を並べかえる	43			
	曲を消す	43			
	曲やディスクに名前をつける	44			
	編集をキャンセルして編集前の状態に戻す ...	47			

説明中のマークについて

-  故障かな? — 操作中におかしいなと思ったときに読んでみてください。
-  これは便利 — 本文で説明していない便利な情報です。
-  ポイント — 知っておくと操作がスムーズになります。

準備

基本操作

MD 編集

応用操作

リミックス

その他

こんなことができます (システムとしての機能です。)

- 1 気分に合わせて CD のテンポが変えられるテンポコントロール!**
 - ジョグを回して CD 演奏のテンポを簡単に変えることができます。
 - CD 演奏のテンポを変えても曲の音程が変わらないマスターテンポ機能。
- 2 好きなフレーズを同じテンポで MD に録音、自分だけのノンストップ MD をつくれるデジタルリミックス**
 - 曲の頭出し位置を自由に設定、瞬時に再生スタートできるキュー機能。
 - CD から MD へつなぎ目なく録音できる MD カットイン録音。
- 3 サンプラー機能により、サンプル録音 / 再生**
 - CD 演奏にサンプラー再生音を重ね合わせることができます。
- 4 充実した MD 編集機能**
 - ジョグ操作でディスク名や曲名の文字入力ができます。
 - デバインド、コンバイン、ムーブ、イレースなど編集機能も充実しています。

付属品の確認

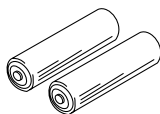
リモコン × 1



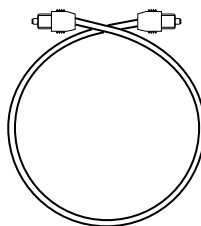
スピーカーコード
(スピーカーに付属) × 2



単 3 形乾電池 × 2
(R6P)



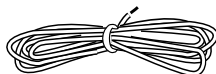
光ファイバーケーブル



AM ループアンテナ × 1
(図は組み立てた状態です。)

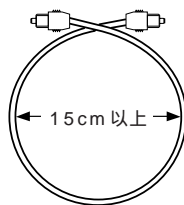


FM アンテナ × 1



取扱説明書
ご相談窓口・修理窓口のご案内
保証書
安全上のご注意

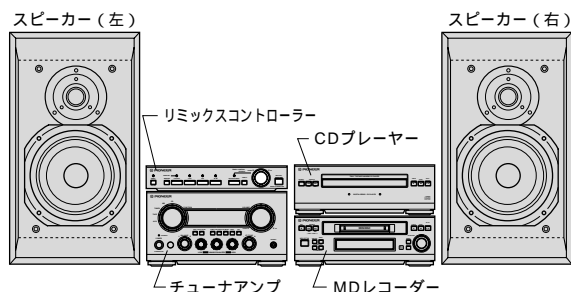
光ファイバーケーブル取り扱い上の注意
光ファイバーケーブルは急な角度に折り曲げたりしないでください。光ファイバーケーブルを破損する恐れがあります。ラックなどに入れるとき特にご注意ください。輪にして保管するときは直径が 15 cm 以上になるようにしてください。接続するときは奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないようにしてください。



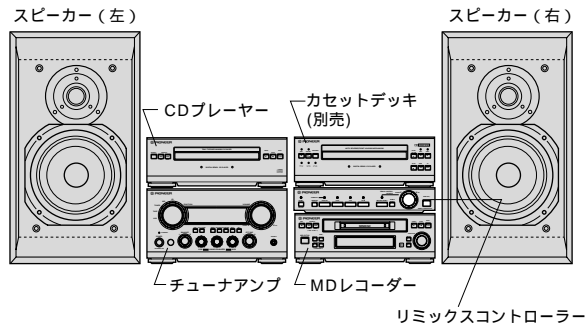
設置のしかた

システムの性能を十分に引き出すため、下記のように設置してください。

[標準システム]

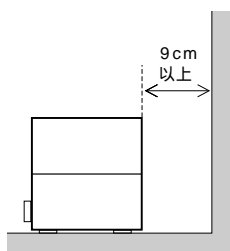


[別売のカセットデッキを追加したとき]



注意

- 機器の天面、側面、後面の放熱孔はふさがないように設置してください。放熱孔をふさぐと内部に熱がこもり、性能不良および故障の原因となります。壁からは下図の距離だけ離してください。
- 毛足の長い敷物やじゅうたん、ベッド、ソファーなどの上に設置したり、布などをかけないでください。通風が妨げられて本機の内部が発熱し、故障や火災の原因になります。



光ファイバーケーブルが折れ
曲らないようご注意ください。

スピーカーシステムについて

スピーカー設置上の注意

- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりスピーカーが故障する原因となります。
- 不安定な場所に設置するのは大変危険ですでおやめください。
- このスピーカーシステムは防磁設計(EIAJ)ですのでテレビと組合せても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15 ~ 30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 「防磁設計(EIAJ)」とは(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

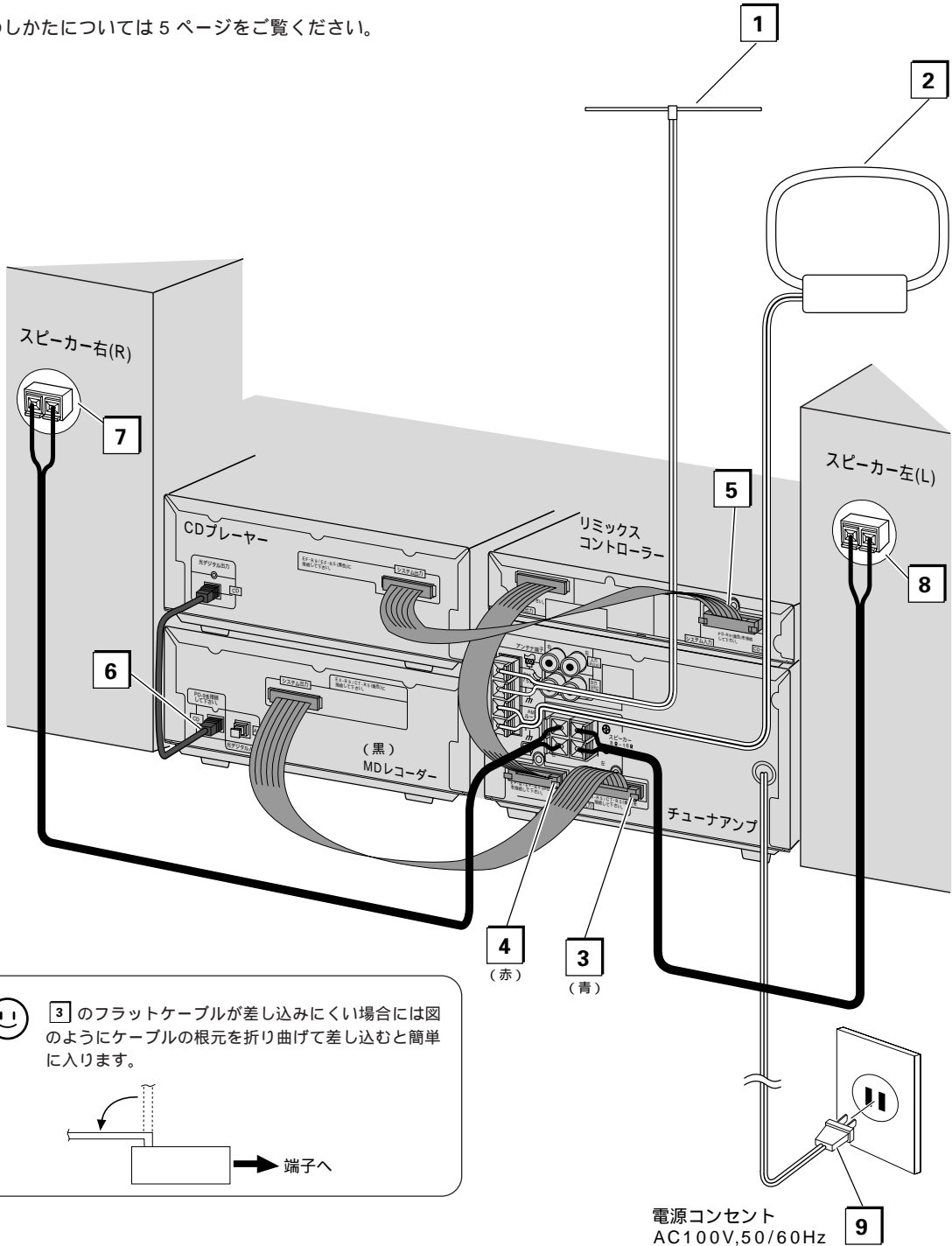
接続のしかた

本機を使う前に次の手順で正しく接続してください。

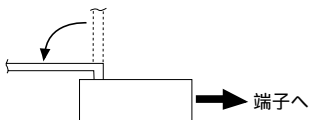
- すべての接続が終わってから電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。
- アンテナは必ず接続してください。(アンテナを接続しないと放送が受信できません。)

チューナーアンプ、CDプレーヤー、リミックスコントローラー、MDレコーダーの組合わせ

設置のしかたについては5ページをご覧ください。

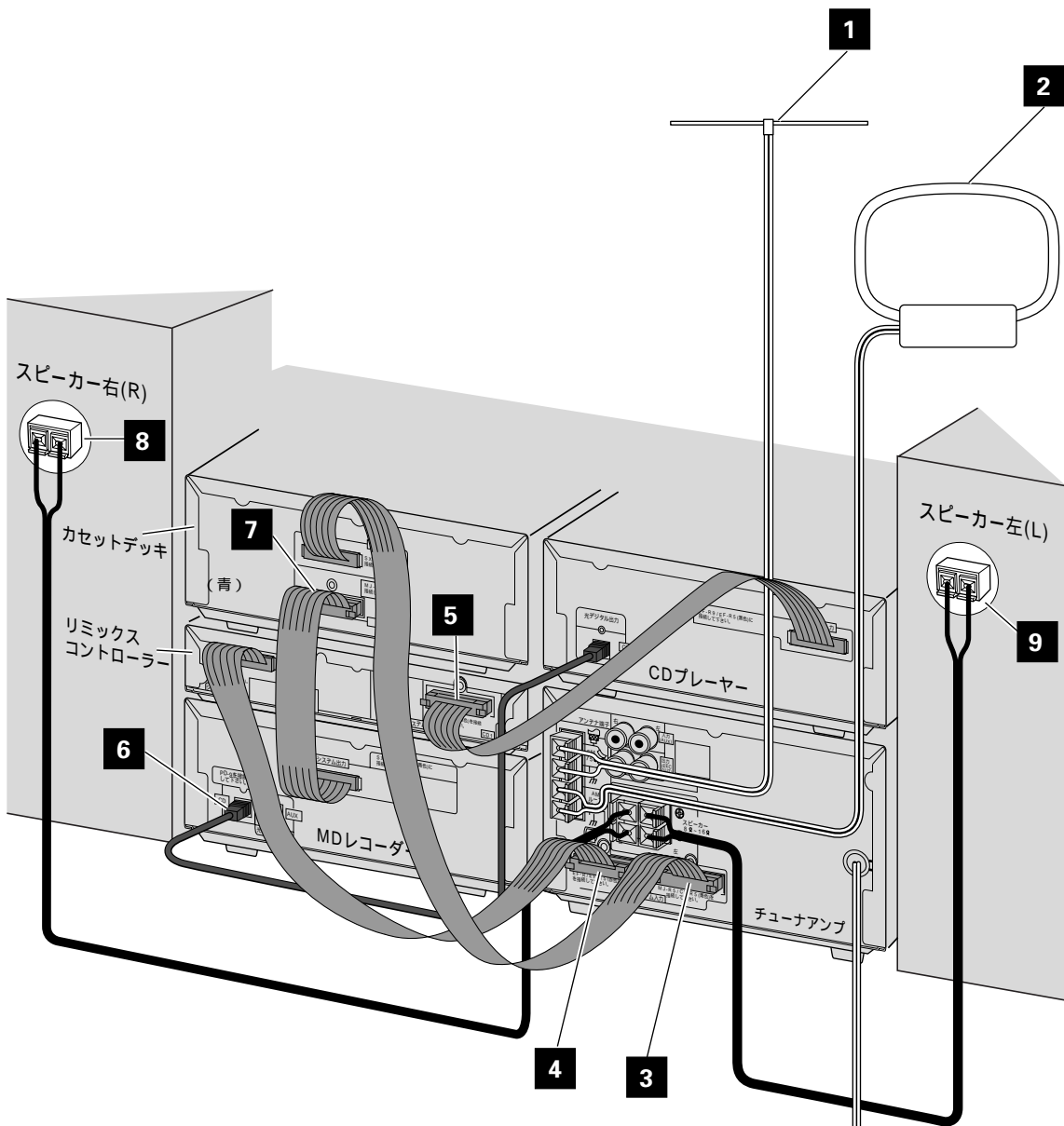


③のフラットケーブルが差し込みにくい場合は図のようにケーブルの根元を折り曲げて差し込むと簡単に入ります。

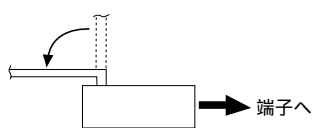


接続のしかた

別売のカセットデッキCT-R5を追加する場合



3 のフラットケーブルが差し込みにくい場合には図のようにケーブルの根元を折り曲げて差し込むと簡単に入ります。



電源コンセント
AC100V,50/60Hz **10**

準備
基本操作
MD編集
リミックス
その他

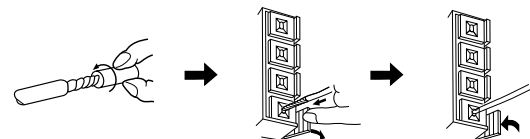
接続のしかた

1 ~ **11** は 6 ページの接続の番号を示します。

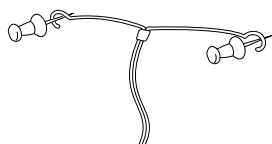
1 ~ **12** は 7 ページの接続の番号を示します。

1 **2** / **1** **2**

FM、AM アンテナをつなぐ



(FM アンテナ)

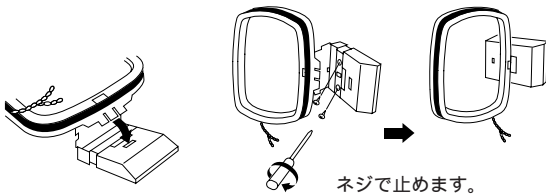


(AM アンテナ)

組立てかた

プッシュピンなどで壁にとめてください。

壁などに取り付ける場合



ネジで止めます。

3

MD レコーダーのフラットケーブルをチューナーアンプにつなぐ

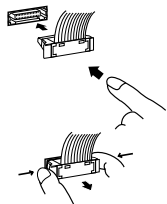
3 **7**

カセットデッキのフラットケーブルをチューナーアンプにつなぐ

MD レコーダーのフラットケーブルをカセットデッキにつなぐ

フラットケーブルのつなぎかた

図のようにケーブルが上へ出る向きで差し込んでください。



差し込むとき
カチッと音がするまで確実に差し込んでください。

はずすとき
両側から押して引っぱってください。

4 / **4**

リミックスコントローラーのフラットケーブルをチューナーアンプへつなぐ

5 / **5**

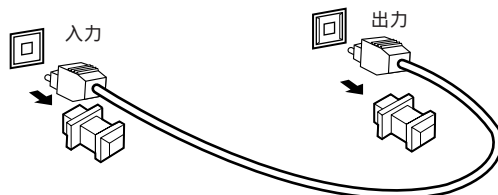
CD プレーヤーのフラットケーブルをリミックスコントローラーへつなぐ

6 / **6**

CD プレーヤーと MD レコーダーの光デジタル端子の CD IN を付属の光ファイバーケーブルでつなぐ

MD レコーダー

CD プレーヤー



光デジタル端子の防塵キャップを引き抜きます。
光ファイバーケーブルのプラグを端子の形に合わせ、奥までしっかり差し込みます。



注意

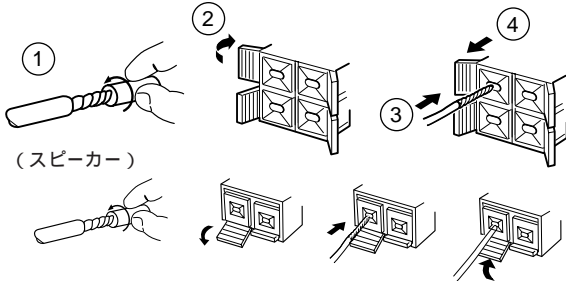
電源プラグをコンセントに接続した状態で、システムケーブルを抜き差しすることは、絶対にやめてください。故障の原因となることがあります。

接続のしかた

7 / 8 / 8 / 9

スピーカーをつなぐ

(チューナーアンプ)



コードの色と端子の色を合わせて接続してください。(赤色は⊕ 黒色は⊖になります。)

9 / 10

チューナーアンプの電源コードを壁のコンセントへ差し込む

初めて電源コードをコンセントにつないだ時は表示が点灯し、デモモードになります。詳しくは裏表紙の「デモモードについて」をご覧ください。

スピーカーのグリルの着脱のしかた

このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1. はずすときはグリルの下側を両方の手で持ち、手前に軽く引っばってグリルの下側をはずします。
2. 同じように、グリルの上側を手前に引っばるとグリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリルの4隅にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

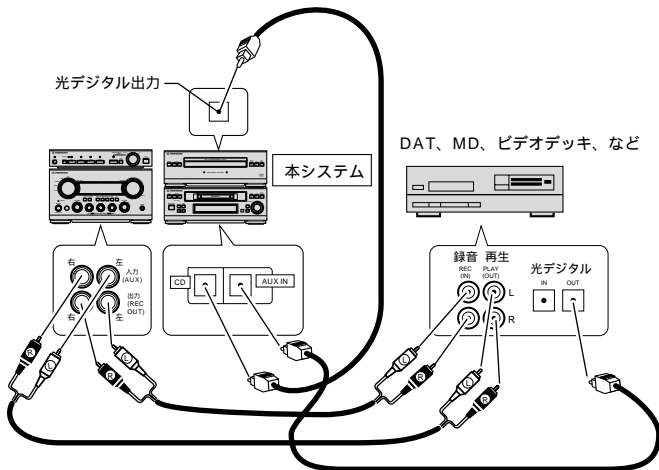
幼児にいたずらされないよう、グリルははずしたままにしないでください。

注意!!

スピーカーシステム S-R3V-LR には自動復帰型のスピーカー保護装置が内蔵されています。高音用スピーカーから音が出なくなった場合には、音量を下げ、30秒程お待ちください。保護装置は自動的に解除されます。

外部機器の接続 (ビデオデッキや本システム以外の MD レコーダーなど)

- レコードプレーヤーを接続する場合は、フォノイコライザーアンプ内蔵タイプのを AUX 入力端子へ接続してご使用ください。
- REC OUT 端子に録音機器を接続して、AUX へ接続した再生機器の音を録音することはできません。
- AUX 端子に接続した機器の再生音を聞くときは、チューナーアンプのファンクションを "AUX" にしてください。
- 外部機器の光デジタル出力から、MD レコーダーの光デジタル入力の "AUX IN" へ接続する場合は、外部機器アナログ出力もチューナーアンプの AUX 端子に接続してください。デジタル接続だけでは音は出ません。
- MD の光デジタル入力の "AUX IN" へは本システムの CD プレーヤーの光デジタル出力は接続しないでください。



準備

基本操作

MD 編集

応用操作

リミックス

その他

接続に関するご注意

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(///)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AMループアンテナ：

- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

FMアンテナ：

- FM T型アンテナは、たらししておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- FM T型アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには専用アンテナを使用してください。

スピーカーの接続について

- スピーカーを本システム以外のアンプに接続しないでください。故障とか、ごくまれに発煙、発火の可能性があります。

電源コードの接続について

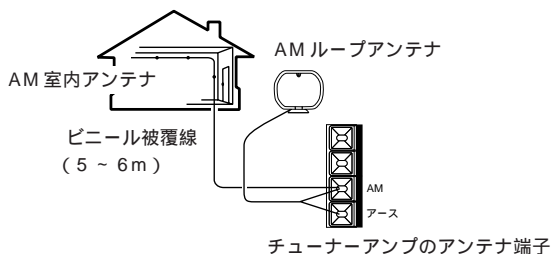
- チューナーアンプの電源プラグは必ず壁のコンセントへ差し込んでください。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

- AM外部アンテナ、市販のFM屋外アンテナを接続します。

AM外部アンテナの接続

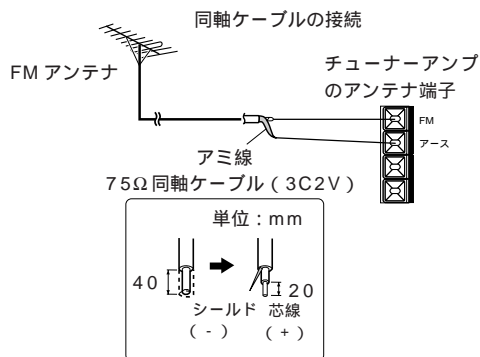
下図のように接続してください。



AM外部アンテナを接続してもAMループアンテナは外さないでください。

FM屋外アンテナの接続

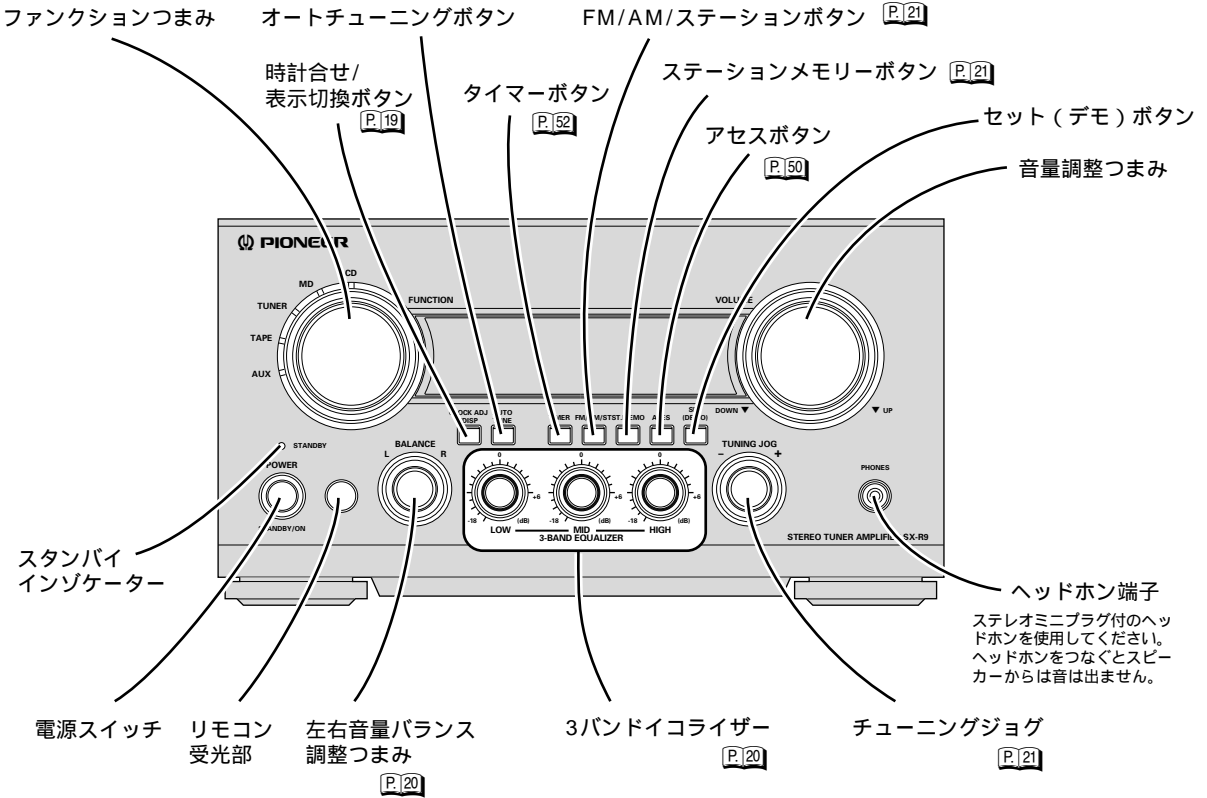
下図のように接続してください。



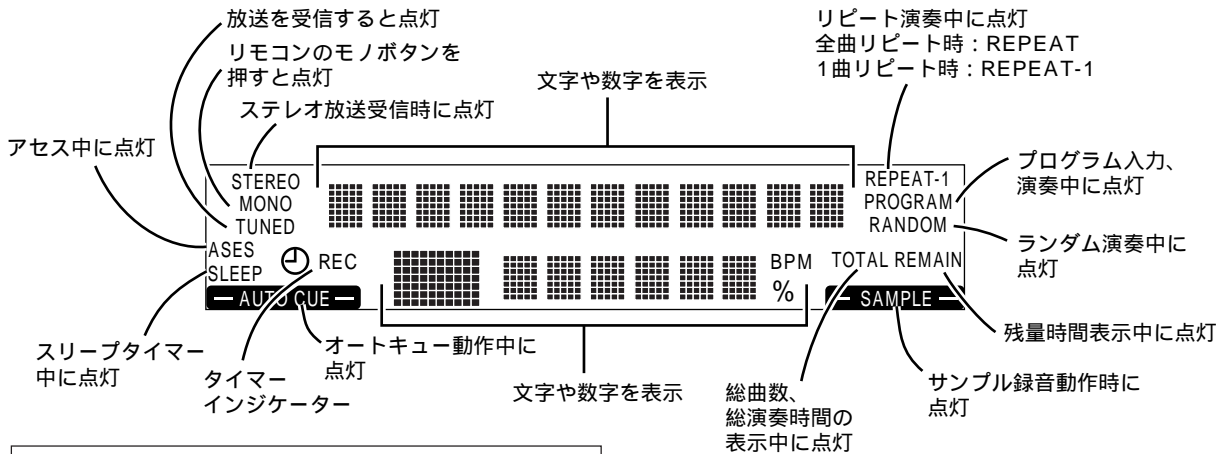
各部のなまえ

ステレオチューナーアンプ

は参照ページです。



(表示部) コントラストの調整のしかたは 69 ページをご覧ください。



液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が紫色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

準備

基本操作

MD編集

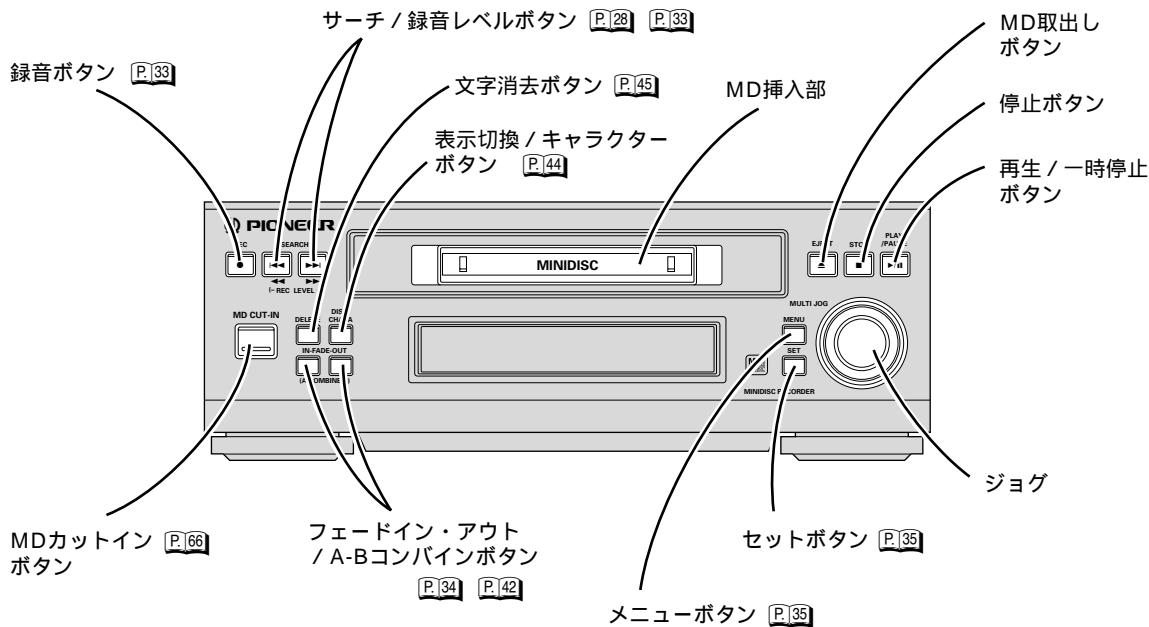
応用操作

リミックス

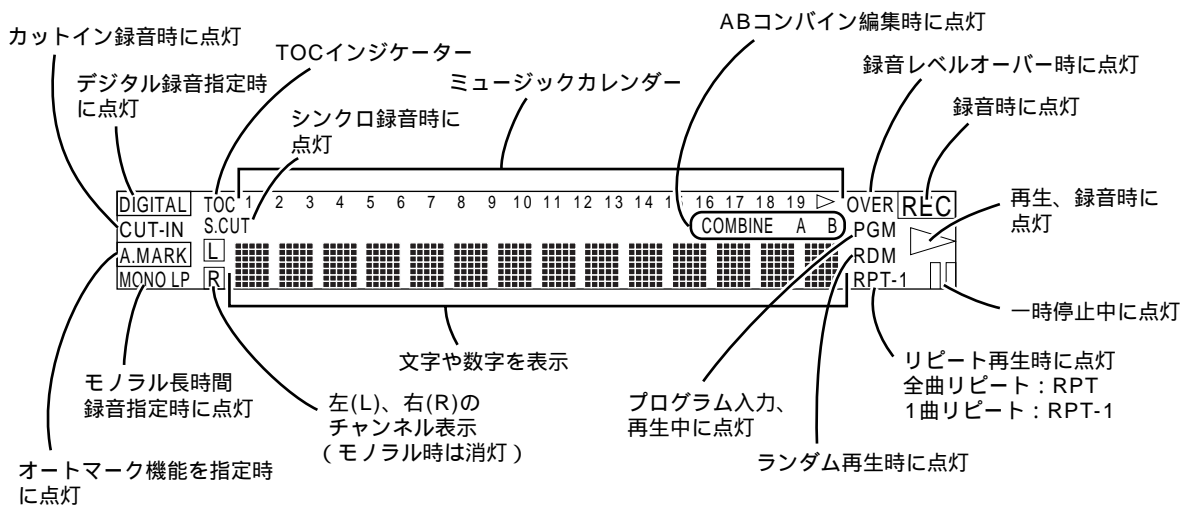
その他

各部のなまえ

ミニディスクレコーダー



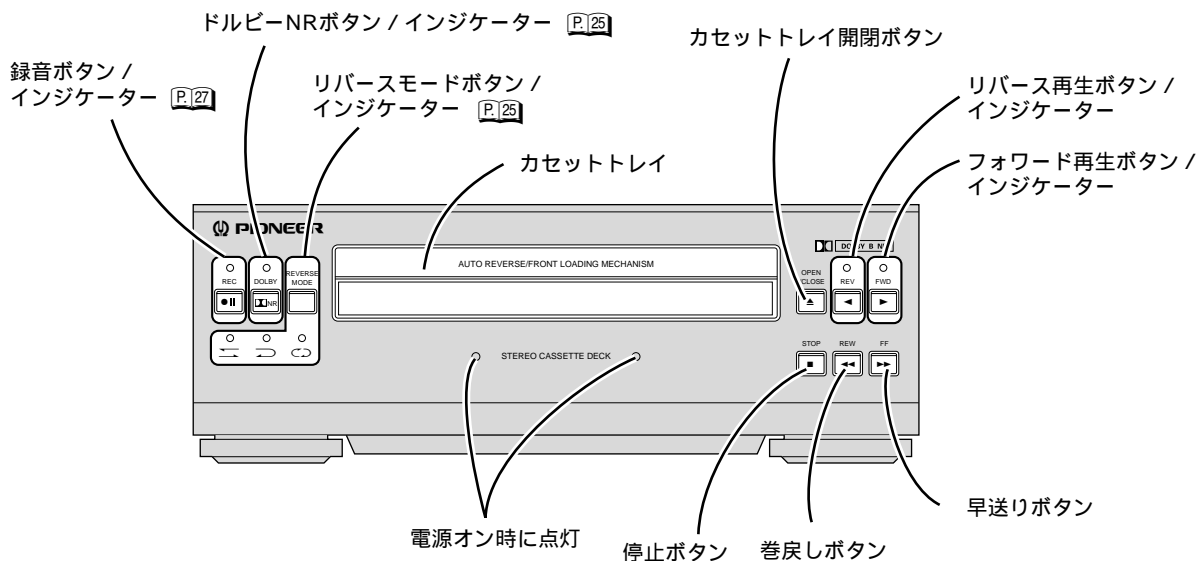
(表示部) コントラストの調整のしかたは 69 ページをご覧ください。



液晶表示素子(LCD)について
 本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が紫色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

準備
 基本操作
 M D 編集
 応用操作
 リミックス
 その他

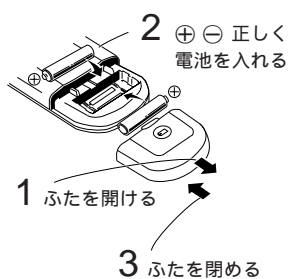
別売のカセットデッキ



リモコンに電池を入れる

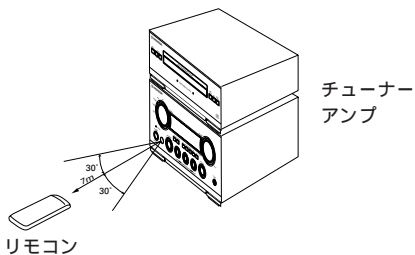
電池は単3形（R6P）を入れてください。

電池の入れ方



リモコン操作範囲

- リモコン前部をチューナーアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。



直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯を離してください。

⚠ 注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池の注意事項もよく見てください。）

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

- ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーゼンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビー、DOLBY 及びダブルD記号はドルビーラポラトリーゼンシングコーポレーションの商標です。

リモコン

電池の入れ方は14ページをご覧ください。

ファンクションボタン [P.20](#)

スリープボタン [P.55](#)

チューナー・アンブ表示切換
ボタン [P.24](#)

カセットデッキ操作ボタン

- ◀▶ : 巻き戻し、早送り
- : 停止
- ◀ : 再生ボタン

ファンクションがTUNERのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
CLR : クリアー
PGM, REPEAT, RANDOMは使用
しません。

ファンクションがCDのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
CLR : クリアー
PGM : プログラムの設定
REPEAT : リピート演奏
RANDOM : ランダム演奏

ファンクションがMDのとき

切換スイッチをMDにします。
CLR : クリアー
PGM : プログラムの設定
REPEAT : リピート演奏
RANDOM : ランダム演奏

CD操作ボタン

- ◀▶ : トラックサーチ
- : 停止
- ▶|| : 再生/一時停止

電源ボタン

音量調整ボタン

操作機器切換スイッチ

DCまたはチューナー操作時 CD/TUNER
MD操作時 MD

チューナー操作ボタン

STATION : メモリーしている放送
局を順に呼び出します。
MONO : FM放送をモノラル受信
にします。
FM/AM : 受信バンド(FM/AM)
を切換えます。

数字ボタン

ファンクションがTUNERのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
メモリーしている放送局を呼び出します。
ステーション 1~10 : 1~10/0
ステーション 11~30 : >10ボタンと
1~10/0ボタン
で呼出します。

ファンクションがCDのとき

切換スイッチをCD/TUNERにします。
数字ボタン1~9、0となります。
>10は11以上の数字入力に使用します。

ファンクションがMDのとき

切換スイッチをMDにします。
数字ボタン1~9、0となります。
>10は11以上の数字入力に使用します。

MD操作ボタン

- ◀▶ : トラックサーチ
- : 停止
- ▶|| : 再生/一時停止
- DIG/ANA : デジタル/アナログ切換
- REC MODE : 録音モード選択
- A.MARK : オートマーカのオン/オフ
- TIME : 時間表示の切換
- DISPLAY : 表示モードの切換

MD、CD、テープの取扱いかた

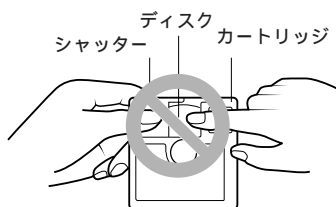
MD の取扱いかた

右記マークのディスクをお使いください。



注意

- ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けるとこわれます。
- 分解しないでください。



保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
 - 高温多湿の場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 砂やホコリの入りやすい場所

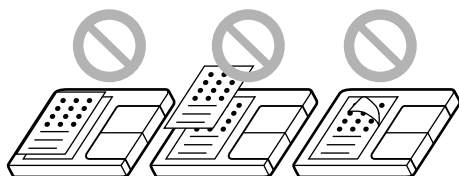
カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。

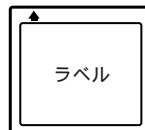
- 指定の場所（エリア内）に貼ってください。
- 重ねて貼付けしないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。



MD の種類について

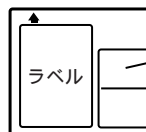
再生専用と録音・再生用があります。

- 再生専用 MD（録音はできません）



シャッターが裏面にあります。

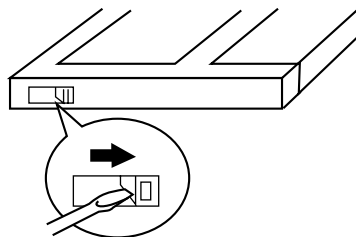
- 録音・再生用 MD



シャッターが両面にあります。

録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



MD、CD、テープの取扱いかた

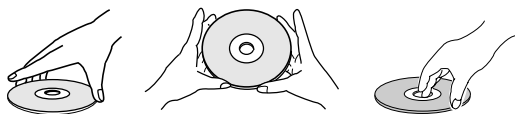
CD の取扱いかた

右記マークの付いたディスクをお使いください。
それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。



ディスクの持ちかた

信号面（虹色に光っている側）にふれないでください。



保管

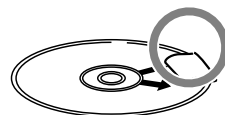
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。



円周に沿って拭かない



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ディスクの清掃には別売ディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付いたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどはみ出しを確認してから、ご使用ください。



注意

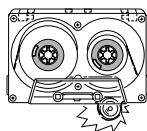
損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

カセットテープの取扱いかた

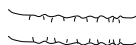
⚠ 注意

C-90 を超えるテープ (C-100, C-120 等) は厚みが非常に薄く、早送り、巻戻し、停止等を繰り返すと、ピンチローラやキャプスタンに巻き込んだり、テープが切れたりする原因になりますので、ご使用にならないでください。



テープがからまる!

巻き乱れのあるテープ、わかめ状になったテープ、伸びたテープも巻き込んだり、切れたりする場合がありますので、ご使用はおすすめできません。

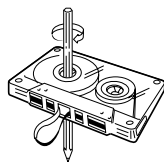


わかめ状になったテープ



伸びたテープ

テープたるみがあると巻き込んだりする場合がありますので、ご使用の前に図のようにたるみを取り除いてください。



テープのはじめには、リーダーテープ(録音できない部分)があります。あらかじめ、約5秒間テープを走行させてから録音を始めてください。

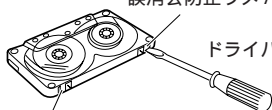
また、録音前に早送り、早戻しをすると、テープの巻きムラによって起こるカセットデッキへの負担が防げます。

録音したものを誤って消さないために

カセットテープの側面にある誤消去防止用のツメを折ってください。ツメを折っても、穴をセロハンテープなどで二重にしっかりと貼れば録音することができます。

検知孔 (P.26) をふさがないようにご注意ください。

誤消去防止ツメ A 面用



ドライバーなどで折る

誤消去防止ツメ B 面用



保管

カセットケースに入れて、ホコリ・油・湿気・磁気の影響を受けないところに保管してください。

カセットデッキのヘッドは汚れていませんか?

* いままでにお客様の製品で、カセットデッキのヘッド汚れによるこんな故障がありました。

正常に録音できない・音がこもっている

高音が出ない・正常に再生しない

音が出ない・音がおかしい

* それほどにヘッド部の清掃は重要なのです。

製品を自分で故障させないために、いつもきれいにしておいてください。

おおよそ10時間程度の使用を目安に汚れを拭きとってください。

清掃のしかた

① カセットトレイ開閉ボタンを押してカセットトレイを開ける。

② クリーニングカセットをセットする。

③ 再生ボタンを押してテープを走行させる。

乾式のクリーニングカセットは使用しないでください。別売のカセットクリーニングキット“JV-C1”のご使用をおすすめします。



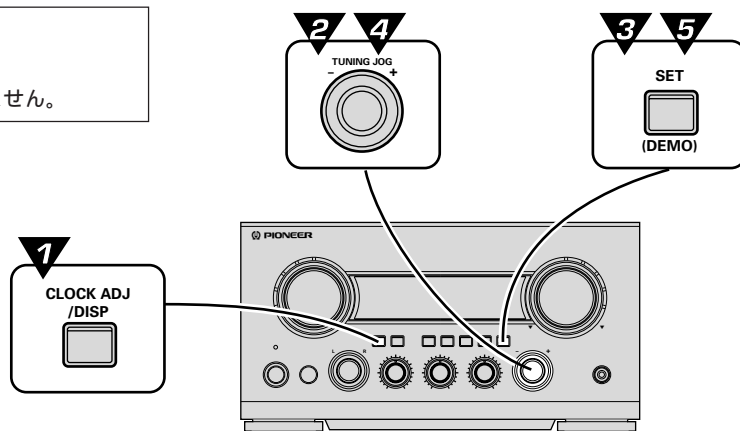
清掃後は、クリーニング液が乾くまで(2~3分)テープをセットしないでください。

クリーニングカセットについて

市販されているクリーニングカセットの中には、構造不備のため、クリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものがありますのでご注意ください。

時計を合わせる

- 電源オフ(スタンバイ)で行います。
- 24 時間表示です。
- 時計合せをしていないとタイマーが使えません。



(例) 午後 6 時 40 分(18:40)に合わせる場合

1

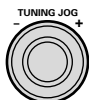
時計合せ / 表示切換ボタン(CLOCK ADJ/DISP)を約 5 秒間押す



前回時計合わせをしていないときは、ボタンを押すとすぐに上の表示になります。

2

チューニングジョグ(TUNING JOG)を回して"時"を合わせる



3

セットボタンを押す



4

チューニングジョグ(TUNING JOG)を回して"分"を合わせる



5

時間になったらセット(SET)ボタンを押す



お願い

停電があったときは時計を合わせ直してください。



電源オフ(スタンバイ)中に時計合せ / 表示切換ボタン(CLOCK ADJ/DISP)を押すと約 5 秒間時刻を表示します。

電話の時報などで合わせることをおすすめします。

準備

基本操作

MD 編集

応用操作

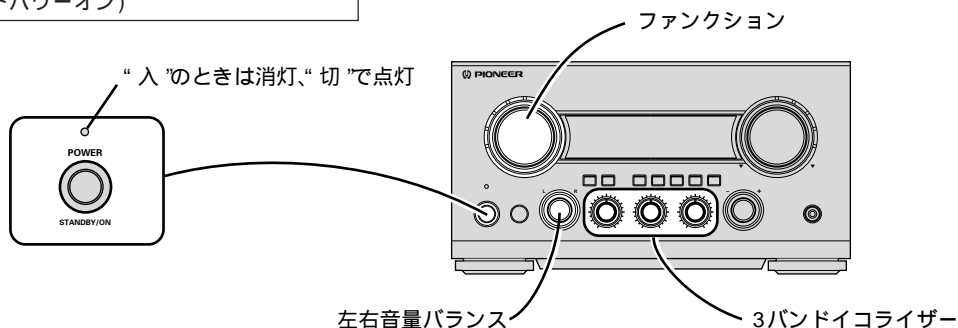
リミックス

その他

電源を入れる / 演奏する / 音質を変える

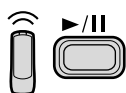
もう一度「接続のしかた」を見て、スピーカーやアンテナなどが接続されているか確認しましょう。

- 電源の入/切はチューナーアンプの電源スイッチで行います。
- 各機の再生ボタンを押しても電源が入って再生をはじめます。(ダイレクトパワーオン)



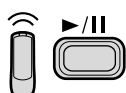
ダイレクトパワーオン

CD



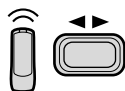
CDが入っていれば再生をはじめます。

MD



MDが入っていれば再生をはじめます。

テープ



テープが入っていれば再生をはじめます。
リモコンは前に再生していた方向へ再生します。
もう一度ボタンを押すと逆方向になります。

放送



ラジオ放送になります。



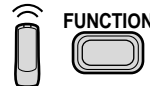
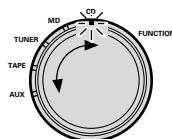
MDのスロットインオートプレイ
再生専用MDまたは誤消去防止状態になっているMDを挿入すると、電源が入って再生をはじめます。



CD やカセットデッキのトレイ開閉ボタン (OPEN / CLOSE) を押しても電源が入って動作します。
MDが入っているときはMD取出しボタンを押しても電源が入って動作します。

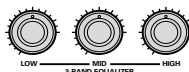
ファンクションを切替える

演奏したい機器に合わせて。



音質を変える (3 バンドイコライザー)

低音 中音 高音

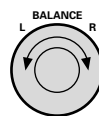


↶ に回すと弱まり、↷ に回すと強められます。

- MDのアナログ録音、あるいはテープ録音は設定した音質で録音されます。
- 外部出力は音質の設定には関係ありません。

左右の音量バランスを調整する

右の音が小さくなります。



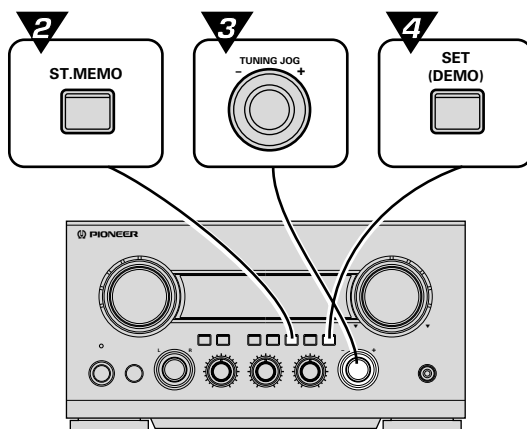
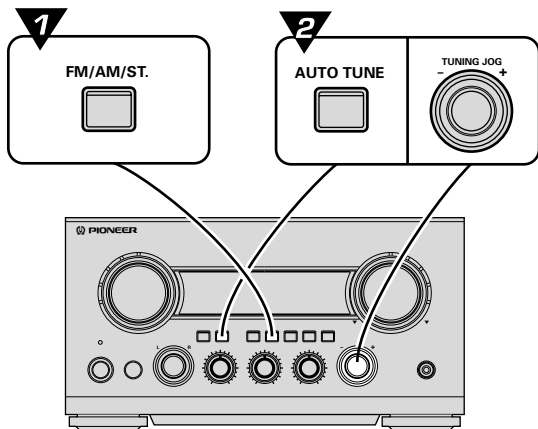
左の音が小さくなります。

通常は中央にしてください。

L-BALANCE-R
---|---|---

ラジオ放送を聞く

アンテナは接続されていますか [P.6](#) [P.7](#) [P.8](#) [P.10](#)



放送を受信する(チューニング)

1 FM または AM を選ぶ



2 受信する

オートチューニング

1. AUTO TUNE
2. つまみを少し回す(アップ↻、ダウン↻)とオートチューニングを開始します。
3. 放送を受信すると止まります。オートチューニングは解除されます。

マニュアルチューニング

1. 希望の周波数になるようにつまみを回します。
- FM ステレオ放送を受信して雑音が多いときはリモコンの MONO ボタンを押してください。モノラル受信になりますが聞きやすくなります。

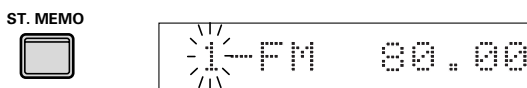
放送局を記憶する(ステーションメモリー)

最大30局の放送局をメモリーできます。
(例)FM80.0MHzをステーション2へメモリーする場合

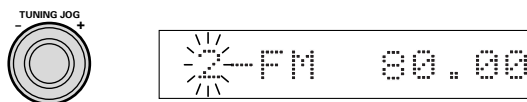
1 受信する

モノラルのオン/オフもメモリーできます。

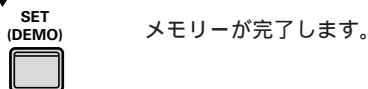
2 ステーションメモリーボタン (ST.MEMO)を押す



3 ステーション番号を選ぶ



4 セットボタンを押す



ステーションメモリーを中止したいときは、ST.MEMO ボタンを押します。

準備

基本操作

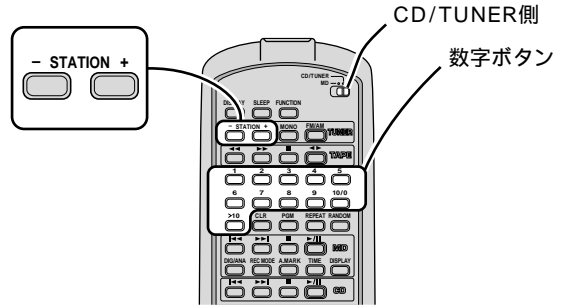
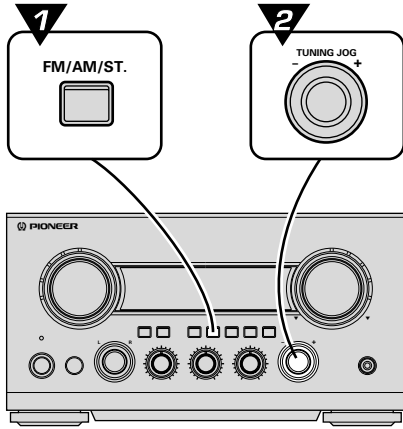
MD編集

応用操作

リミックス

その他

ラジオ放送を聞く



放送局を呼び出す (ステーションコール)

1 ステーションモードにする



2 ステーション番号を選ぶ



リモコンで呼出す

- ファンクションが TUNER のときに数字ボタンで呼出します。(1 ~ 10/0、> 10、CLR)

ステーション 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

ステーション 10 :

ステーション 11 ~ 30 : ボタンを押してから番号を選ぶ。

(例)

ステーション 11			
ステーション 15			
ステーション 30			

2桁入力時に CLR ボタンを押すと入力を解除します。

- リモコンの STATION - / + ボタンでも呼出せます。



注意!!

すでにメモリーされているステーションへメモリーすると前の放送局は消去され、新しい放送局がメモリーされます。

注意!!

- FM90MHz ~ 108MHz はテレビ信号が影響してオートチューニングできないことがあります。
- テレビ受信は FM 受信と兼用のため、FM 放送が混信することがあります。



テレビの 1 ~ 3 チャンネルは次の周波数です。

1ch: 95.75MHz

2ch: 101.75MHz

3ch: 107.75MHz

音声はモノラルまたは主音声のみです。

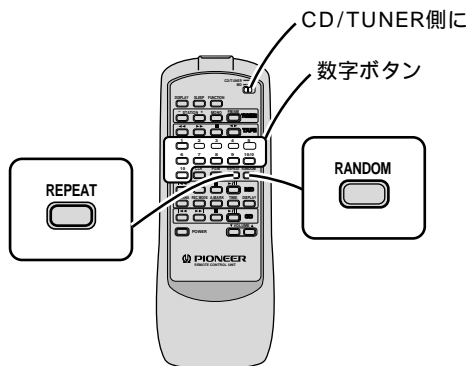
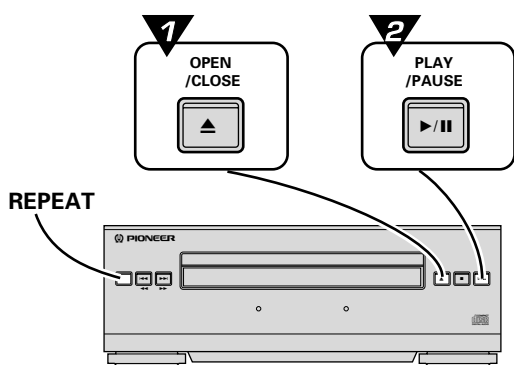


ステップ周波数を切換えるには

国内では通常 FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとに変わるように設定されていますが(ステップ周波数)、これを FM 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。

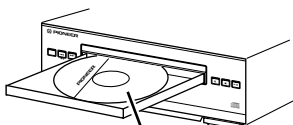
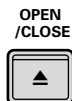
1. 電源をオフにする。
2. ステーションメモリーボタンを 5 秒間押しつづける。周波数表示を約 5 秒間行います。
3. ステップ周波数表示が出たら、ステーションメモリーボタンを押してステップ周波数を選ぶ。ステップ周波数表示を約 5 秒間行います。

CD を聞く



1 曲目から順に演奏する

1 ディスクを入れる



レーベル面（曲名などが印刷されている面）を上に入れます。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す



演奏を止める	
演奏を一時停止する	
一時停止から演奏を再開する	
頭出しをする ● ボンと押します。 ● 停止中は頭出しの曲を設定できます。演奏するときは再生 / 一時停止を押します。	
早送り / 早戻しをする ● 演奏中に押しつづけます。	

停止、一時停止、頭出しは、リモコンでも操作できます。

聞きたい曲を選ぶ

(リモコン操作)

ファンクションが CD のときに数字ボタンを押すと、その曲を演奏します。

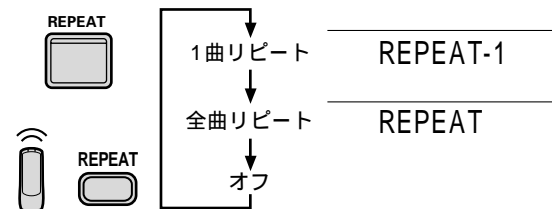
- 1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。
- 10 : を押す。
- 11 以上 : を押してから番号を選ぶ。

(例) 15 曲目 1 5
20 曲目 2 10/0

2 桁入力時に を押すと入力モードを解除します。

繰り返し演奏する (リピート演奏)

1 曲だけの繰り返しと、全曲の繰り返しができます。



リピート演奏をやめるには

- 演奏を停止する (■)。
- リピートオフを選ぶ (インジケーター消灯)。

順不同で演奏する (ランダム演奏)

曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。

リモコンの RANDOM ボタンを押す



ランダム演奏をやめるには

- 演奏を停止する (■)。

準備

基本操作

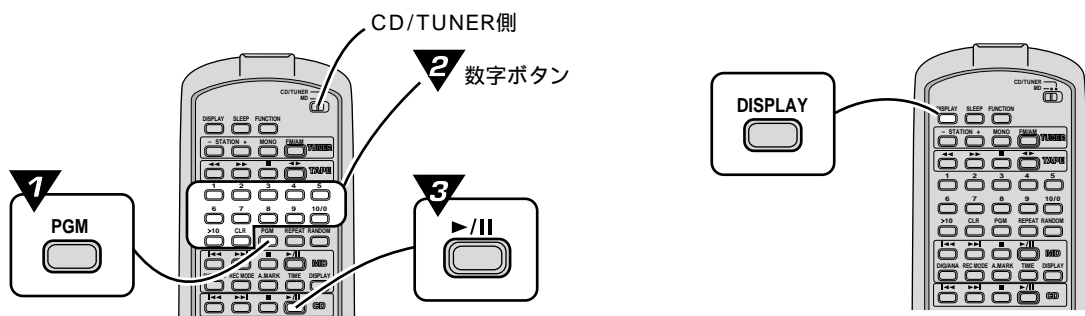
M/D 編集

応用操作

リミックス

その他

CD を聞く



好きな曲を予約する(プログラム演奏)

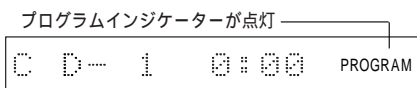
リモコンで行います。

32 ステップまでプログラムできます。

(例)CD で 3 曲目、10 曲目、12 曲目の順に演奏する場合。

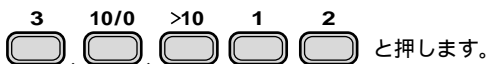
ファンクションが CD のときに停止中に

1 PGM ボタンを押す

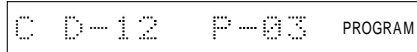


2

曲番を指定する



プログラムステップ数を表示



プログラム総演奏時間を表示します。



3

再生 / 一時停止ボタンを押す



演奏をはじめます

プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取消せます。

- 演奏中： 停止ボタンを 2 回押す。
- 停止中： 停止ボタンを 1 回押す。
- ディスクトレイ開閉ボタンを押して、CD を取出す。

曲番をまちがえたときには

クリアーボタン (CLR) を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。

表示を切換える

ファンクションが CD のときにチューナーアンプの時計合せ / 表示切換ボタン (CLOCK ADJ/DISP) を押して順に切換えることができます。



① 演奏中の曲番、演奏経過時間



② 演奏中の曲番、曲の残り時間 (REMAIN インジケーターが点灯)

③ 総曲数、総演奏時間 (TOTAL インジケーターが点灯)



- CD を 2 枚重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- 8 cm CD アダプターは使用しないでください。

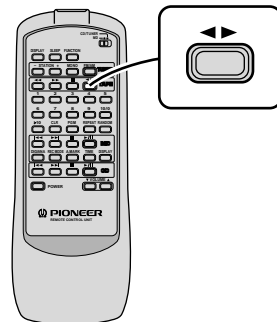
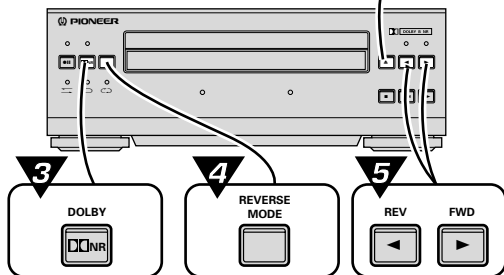
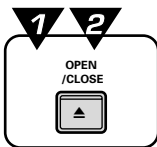


- 1 曲リピート中にマニュアルサーチ (◀◀, ▶▶) で別の曲に移ったときは、その曲を繰返します。
- ランダム演奏中に全曲リピートにするとランダム演奏を繰返します。(ランダムリピート)
- プログラム演奏中にランダムボタンを押すとプログラム演奏が解除されランダム演奏します。
- ランダム演奏中にランダムボタンを押すと、演奏中の曲を中止し、別の曲を選んで演奏します。

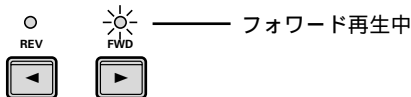
別売のCT-R5をご購入のお客様はお読みください。

テープを聞く ヘッドは汚れていませんか?

- 再生できるテープはTYPE (ノーマル)、TYPE (HIGH/CrO₂)、TYPE (メタル)です。



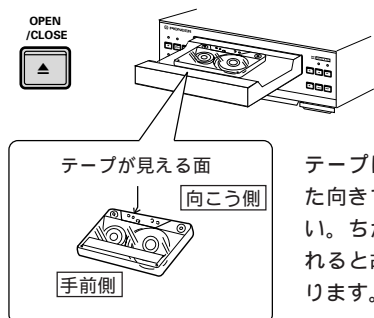
5 再生ボタンを押す



インジケータが点灯している側が再生方向です。

基本操作

1 テープを入れる



テープは必ず図に示した向きで入れてください。ちがった向きで入ると故障の原因になります。

トレイを開けた後はフォワード方向(▶)に切り替わります。

2 カセットトレイを閉じる



3 ドルビー NR を選ぶ



ドルビー B タイプ NR オン オフ

録音時と同じ設定にしてください。

4 リバースモードを選ぶ



- : 片面再生が終わると停止します。
- ◀ : ◀方向の再生が終わると停止します。
- ▶ : ▶方向の再生が終わると停止します。
- ↺ : 最大16面まで繰返し再生します。

再生を止める	
早送り、巻戻し	
● 停止から押します。 再生インジケータが点滅します。	巻戻し 早送り

- カセットをトレイにのせるとき、A面を上にするれば▶がA面に、◀がB面になります。
- リモコンの再生ボタンでは、前回の再生方向から再生します。再生中に押すと逆方向に切り替わります。

ドルビー NR システムについて
ドルビー NR システムは、テープ再生中に生じる高域のテープヒスノイズ(サーという雑音)を減らすシステムです。録音時に、雑音に耳につきやすい高域の小音量の部分のレベルを上げて録音し、再生時にこのレベルを上げた分だけ減衰させて、もとのレベルに戻します。このとき、同じ耳につきやすい雑音も低減されます。ドルビー NR システムをオンして録音したテープは、再生時もドルビー NR システムをオンして再生してください。オンで録音をオフで再生したり、オフで録音をオンで再生すると、原音に忠実な再生ができません。

準備

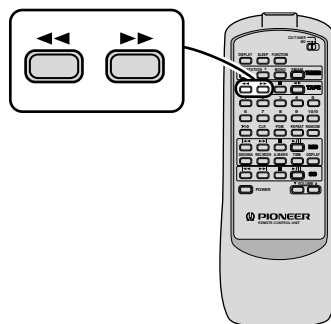
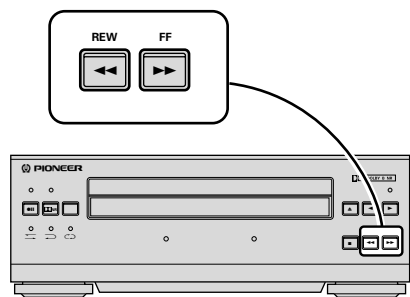
基本操作

MD 編集

応用操作

リミックス

その他



曲の頭出しをする(ミュージックサーチ)

再生中に早送り、巻戻しボタンを押す

- ▶▶ を押すと次の曲の頭出しをします。
- ◀◀ を押すと聞いている曲の頭出しをします。

押した回数によって飛び越し選曲もできます。(最大前後 15 曲まで)

(例) 3 曲目再生中

▶▶ を 2 回押した場合.....5 曲目の頭出し

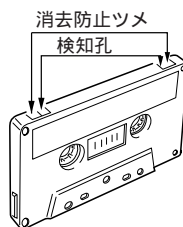
```
SEARCH  P+  2
          VOL  8
```

◀◀ を 2 回押した場合.....2 曲目の頭出し

```
SEARCH  P-  2
          VOL  8
```

オートテープセクター機構

カセットテープの側面にある検知孔によりテープの種類を検知して、それぞれのテープに合った録音バイアス、イコライザーを自動的に設定します。



TYPE II (ハイポジション / クロムテープ)

注意!! テープにラベルを貼る場合は、重ね貼りはしないでください。1 枚だけしっかりと貼付けてください。



頭出しは、曲と曲のあいだに約 4 秒以上の無録音部分がある場合に機能します。



曲と曲のあいだの無録音部分(約 4 秒以上)が判別しづらいテープ(曲間に雑音がある、曲の途中で音がぎれる、など)を使うと、頭出し動作をしない場合があります。

テープに録音する ヘッドは汚れていませんか?


- 録音できるテープはTYPE (ノーマル)、TYPE (HIGH/CrO₂)です。

基本操作

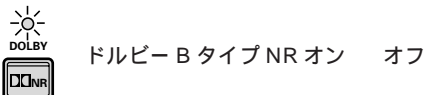
1 チューナーアンプで演奏する機器(ファンクション)を選ぶ

- チューナーを録音する場合は放送を受信しておいてください。

2 テープを入れる

- 録音用テープはリーダー部分を先送りして、磁性面にしておいてください。
- 誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。 

3 ドルビー NR を選ぶ



4 リバースモードを選ぶ



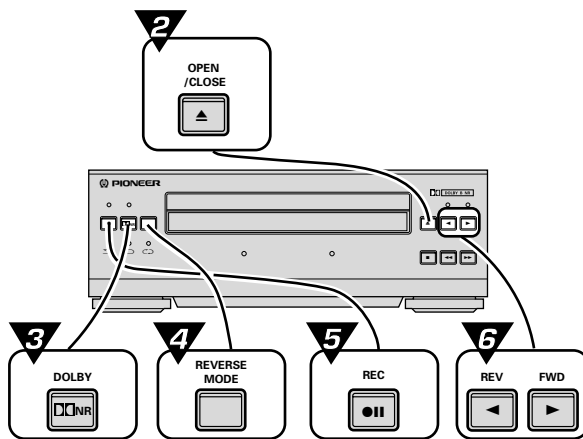
☰ : 片面録音で終了します。

☺☻ : A面(▶)からB面(◀)へ録音します。
B面(◀)から録音したときは片面で終了します。

5 録音ボタンを押す



再生インジケータの片方がゆっくり点滅します。



6 再生ボタンを押す







フォワード方向(▶)に録音します。



リバース方向(◀)に録音します。

リモコンのときは点滅している方向へ録音します。

7 1 で選んだ機器を演奏する

録音を止める	 (本体)
録音を一時停止する (録音中に)	
録音を再開する (録音一時停止中に)	 



- 録音中にはファンクションの切換えはできません。(録音一時停止にすれば可能です。)音質調整(20ページ)は、録音の音質にも有効となります。



- 本機はALC(Auto Level Control)により自動的に録音レベルを設定します。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断では使用できません。

準備

基本操作

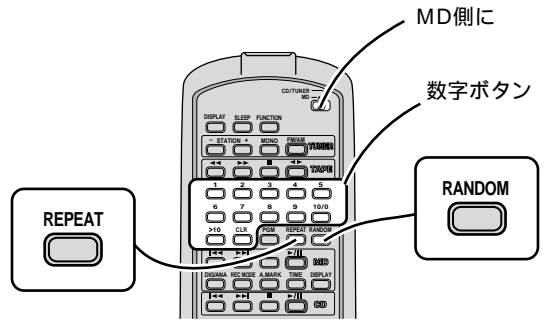
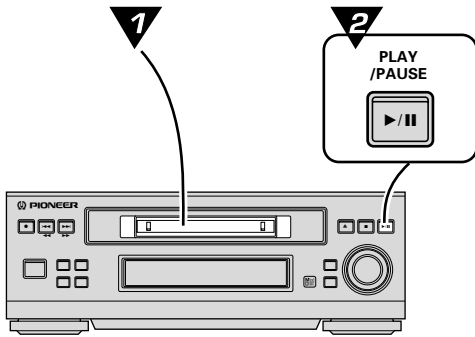
M/D編集

応用操作

リミックス

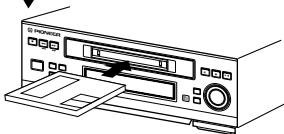
その他

MD を聞く



1 曲目から順に再生する

1 MD を入れる



ラベルを上にして矢印の方向から入れます。

途中から自動的に引き込まれます。

2 再生 / 一時停止ボタンを押す



再生する前にディスクの最初に記録されている TOC 情報を読み取りますので、その間は音が出ません。

聞きたい曲を選ぶ

(リモコン操作)

ファンクションが MD のときに数字ボタンを押すと、その曲を再生します。

1 ~ 9 : 番号のボタンを押す。

10 : と押す。

11 ~ 99 : を押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

100 以上 : を 2 回押してから数字ボタンで番号を選ぶ。

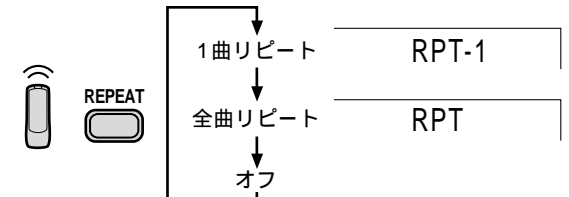
(例) 15 曲目 1 5
 20 曲目 2 10/0
 108 曲目 1 10/0 8

2、3 桁入力時に **CLR** を押すと入力モードを解除します。

繰り返し再生する (リピート再生)

1 曲だけの繰り返しと、全曲の繰り返しができます。

リモコンの REPEAT ボタンを押す



リピート再生をやめるには

- 再生を停止する (■)。
- リピートオフを選ぶ (インジケータ消灯)。

順不同で再生する (ランダム再生)

曲を無作為に選んで 1 回ずつ再生します。

リモコンの RANDOM ボタンを押す



ランダム再生をやめるには

- 再生を停止する (■)。

再生を止める	
再生を一時停止する	
一時停止から再生を再開する	
頭出しをする ● ボンと押します。 ● 停止中は頭出しの曲を設定できます。 再生するときは再生 / 一時停止を押します。	
早送り / 早戻しをする ● 押しつづけます。	

停止、一時停止、頭出しはリモコンでも操作できます。

MD を聞く



- 「再生専用 MD」、「録音・再生用 MD で誤消去防止状態になっているもの」を挿入すると再生ボタンを押さなくても再生をはじめます。
- 曲名が入っている MD は再生時に曲名を表示します。

表示を切替える

本体の表示切替 / キャラクターボタンまたは、リモコンの DISPLAY ボタンで順に切替えることができます。

- ① タイトル表示(タイトルが無い場合は②になります)
- ② タイム表示("タイム表示を切替える"を参照)
- ③ レベルメーター表示
- ④ 録音した曲数、録音できる残り時間(5秒後①に戻る)

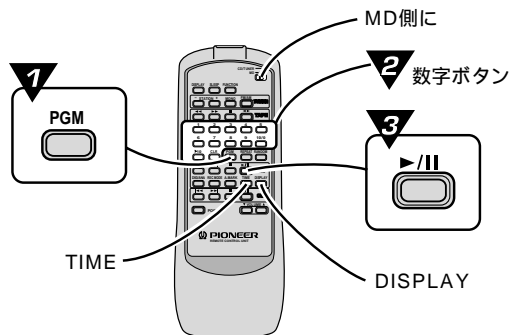
タイム表示を切替える

リモコンの TIME ボタンで順に切替えることができます。

- ① 再生中の曲番、再生経過時間
- ② 再生中の曲番、曲の残り時間
- ③ 再生終了までの残り時間
- ④ 録音した曲数、総再生時間(5秒後に①に戻る)



- ランダム再生中に全曲リピートにするとランダム再生を繰り返します。(ランダムリピート)
- プログラム再生中にランダムボタンを押すとプログラム再生が解除され、ランダム再生します。
- ランダム再生中にランダムボタンを押すと、再生中の曲を中止し、別の曲を選んで再生します。
- リピート再生中あるいはランダム再生中に編集メニュー(39ページ)に入ると、リピート再生あるいはランダム再生を解除します。



好きな曲を予約する(プログラム再生)

リモコンで行います。

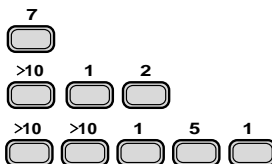
25ステップまでプログラムできます。

(例)7曲目、12曲目、151曲目の順に再生する場合。

1 MD 停止中に PGM ボタンを押す



2 曲番を指定する

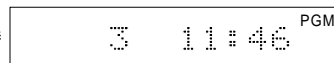


と押します。

曲番とプログラムステップを表示します。



プログラムステップとプログラムの総再生時間を表示します。



3 再生 / 一時停止ボタンを押す



再生をはじめます

プログラムを取り消すには

下記のいずれかの操作で取消せます。

- 再生中：停止ボタンを2回押す。
- 停止中：停止ボタンを1回押す。
- MD 取出しボタンを押して、MD を取出す。

曲番をまちがえたときには

停止中にクリアボタン (CLR) を押します。押すごとに最後にプログラムした曲から順に消えていきます。 29

<ARA7068>

MD に録音する前にお読みください

MD 録音とテープ録音のちがい

- MD は片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる時間の残りが確認できます [P.29]。

TOC(Table of Contents)について

MD に録音をすると、曲番や録音場所などの情報がディスクの内周部分に記録されます。再生や編集はこれらを使って行います。

TOC は次のときに MD に記録されます。

- MD を取出したとき
- 電源を切ってスタンバイになるとき

TOC の記録中(“ TOC ”点滅中)に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しい再生ができなくなる場合があります。

デジタル録音について

本機のデジタル録音のサンプリング周波数は 32kHz、44.1kHz、48kHz に対応しています。したがって、以上のサンプリング周波数の機器(BS/CS チューナーや DAT など)を直接デジタル録音することができます。サンプリング周波数の切換えは自動的に行われます。

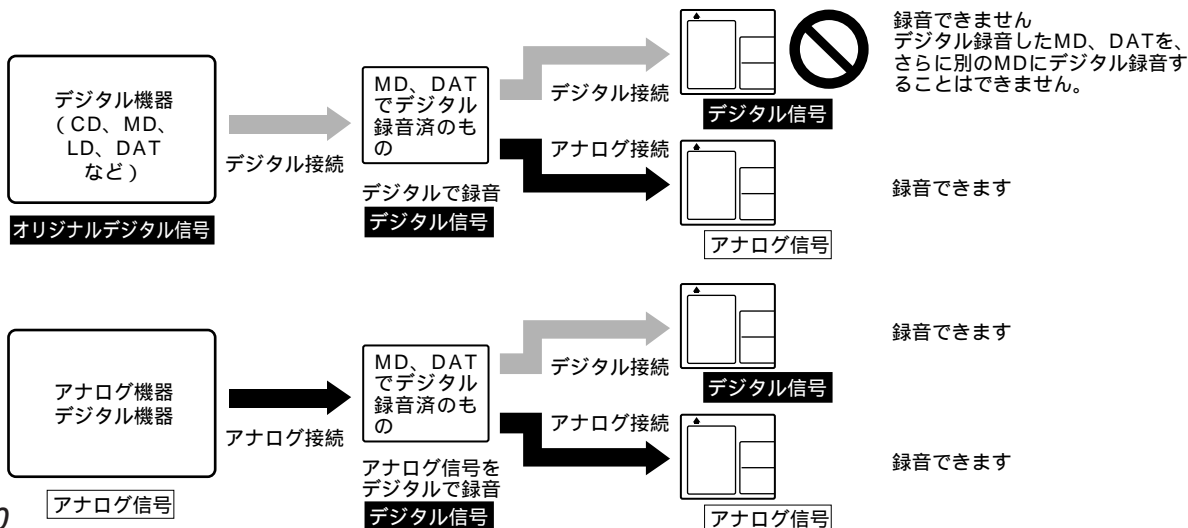
曲番号について

録音すると自動的に曲番がつけられます。追加録音するたびに順に曲番が大きくなります。

- CD のデジタル録音
CD の曲番と同じところに、1 曲ごとの曲番が自動的につきます。(シンクロマーク機能)ただし、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

デジタルコピーに関するご注意

CD からデジタル録音したものを、さらに別の MD や DAT などにデジタル録音(コピー)することはできません。これは、SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)により定められているためです。



- ラジオ放送の録音
1 回の録音を 1 曲として曲番を付けます。
- CD のアナログ録音やテープ、外部機器(AUX)のアナログ録音
 - 1.5 秒以上の無音部分があると、曲間とみなして自動的に次の曲番をつけます(オートマーク機能)。
ただし、雑音があるときなど、録音の内容によって正しい位置につかないこともあります。
 - オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として録音することもできます。 [P.38]
- 外部機器(AUX)のデジタル録音
録音ソースが CD、MD の場合、ソースの曲番と同じところに 1 曲ごとの曲番が自動的に付けられます。(シンクロマーク機能)ただし、録音ソースの曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。録音ソースが CD、MD 以外の場合は必要に応じてオートマーク機能をご使用ください。

デジタル/アナログ録音の切換えについて

- CD あるいは外部機器(AUX)を録音するときのみ、切換え可能です。
本体のメニュー操作、またはリモコンで切換えます。
- ラジオ放送、テープを録音するとき、あるいはリミックスがオンのときは、アナログ録音となります。

MDに録音する前にお読みください

録音レベルについて

- CDあるいは外部機器(AUX)のデジタル録音は、録音レベルの調整の必要はありません。
- アナログ録音時は、録音をはじめの前に録音レベルを調整します [P.33]。

録音中に停電すると

MDへの録音中にコンセントが抜けたり、停電があっても、その時の録音内容を保持します(停電前数秒間の音声は除きます)。次に電源がオンになった時にTOCの記録を行います。ただし録音内容を保持できるのは約2日程です。電源プラグをコンセントから抜く場合には必ずディスクを取り出してからにしてください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先： 社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー11F

電話 (03)-5353-0336 FAX. (03)5353-0337

MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MDの最大録音時間になっていないのに“ ^{トップ} TOC FULL”が表示されることがある。	MDでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大(255曲)になっていなくても、TOCの情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 (このようなMDは、全曲イレース機能を行えば最初から使用できます。)
MDの最大録音時間になっていないのに“ ^{ディスク} DISC FULL”が表示されることがある。	ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MDに録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 (録音中に“DEFECT”と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。)
編集で曲と曲をつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 また、デジタル入力から録音した曲(CDやMDなど)と、アナログ入力から録音した曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早戻し/早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なったMDでは、早戻し/早送り中に音かとぎれることがあります。

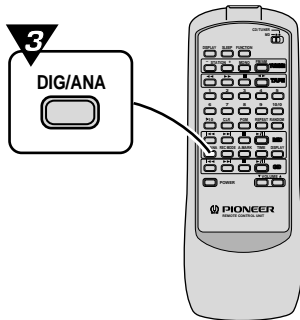
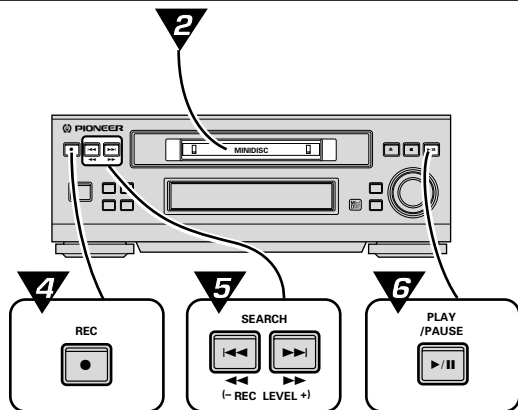
MD に録音する前にお読みください

こんな表示が出たときは

表示	意味	このようにしてください
ノディスク NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが入っていない。 ● MDのデ-タが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを入れる。 ● MDをもう一度入れ直す。
ディスクエラー DISC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがついている。 ● TOCがMDに書き込まれていないか、デ-タに異常がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDをもう一度入れ直す。 ● 他のMDと取りかえる。
アンノウンディスク UNKNOWN DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● デ-タに異常がある。規格外のMDである。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。
ユートックエラー UTOC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オ-ルイレ-スをし、録音をやり直す。
ディスクフル DISC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● MDに録音できる空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
ブランクディスク BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生するときは、録音されたMDと取りかえる。
ノトラック NO TRACK	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽が録音されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音されたMDと取りかえる。
プリマスタート PREMASTERED	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生専用MDに録音や編集をしようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音用MDと取りかえる。
プロテクト PROTECTED	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止状態をもとに戻す。
トラックフル TOC FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
キャントレコ Can't REC	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音をやり直すか、MDをかえてみる。
テンプオーバー TEMP OVER	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高くなりすぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切ってしばらく休ませる。
キャンテディット Can't EDIT	<ul style="list-style-type: none"> ● 編集できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲の停止位置を変えて、編集し直す。
ネームフル NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク、曲名の合計が1700文字をこえている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名/曲名を短くする。
デフェクト DEFECT	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の録音用MDと取りかえる。
メカエラー MECHA ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが正しく働いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDの停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、ACプラグを抜いて再度つないでみる。
キャンコピー Can't COPY	<ul style="list-style-type: none"> ● コピ-禁止のものから録音しようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コピ-可能なもの(一般のCDなど)に換える。 (表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。)
ノットオーディオ NOT AUDIO	<ul style="list-style-type: none"> ● オ-ディオ用でないデ-タが記録されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● MDを取りかえる。
ユートックライトエラー UTOC W ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 (書き込み中はショックを与えないで下さい。)
ユートックリードエラー UTOC R ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 他のMDと取りかえる。 ● オ-ルイレ-スをし、録音をやり直す。
ポイントエラー POINT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● A-Bコンパイン編集でのA点、B点の指定がおかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● A点、B点の指定をやり直す。

MDに録音する

- 録音できるMDは、録音・再生用MDです。



準備

基本操作

マニュアル録音する

1 チューナーアンプで演奏する機器(ファンクション)を選ぶ

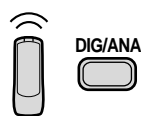
- チューナーを録音する場合は、放送を受信しておいてください。
- ファンクションMDは選ばないでください(録音できません)。

2 MDを入れる

誤消去防止状態になっているMDには録音できません。

3 CDあるいは外部機器(AUX)を録音する場合は

リモコンでデジタル録音かアナログ録音かを選ぶ



本体のメニュー操作でも選択できます。
リミックス(58ページ)がオンのときはアナログ録音のみが可能です。

4 停止から録音ボタンを押す



録音一時停止になります。

CDあるいは外部機器のデジタル録音 → 6へ
アナログ録音 → 5へ

5 録音レベルを調整する

アナログ録音時のみ調整できます。

1で選んだ機器を演奏状態にしてください。



0から64の範囲で調整できます。

- 録音レベル表示でレベルオーバー(OVERが点灯)しないようにしてください。
- 音質調整をしない場合の録音レベルの標準は48前後です。
- 音質調整をすると録音レベルが変化しますのでご注意ください。

調整が終わったら演奏を停止してください。

6 再生/一時停止ボタンを押す



録音が始まります。

⇒ 次ページへ続きます。

MD編集




応用操作

リミックス

その他

MD に録音する

7 1 で選んだ機器を演奏する

録音をやめる	
録音を一時停止する	
録音を再開する	



- 録音中にはファンクションの切換はできません。(録音一時停止にすれば可能です)
- デジタル録音の場合の音質調整は録音の音質には効果がありません。アナログ録音は設定した音質で録音されま



- 録音中に録音ボタンを押すと、そこから曲番を1つ増やして、別の曲として録音します。

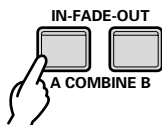
フェードインで録音をはじめ、フェードアウトで録音を終了したいとき

アナログ録音では、フェードイン(徐々に音が大きくなってゆく)で録音をはじめたり、フェードアウト(徐々に音が小さくなってゆく)で録音を終了することができます。

フェードイン録音

再生 / 一時停止ボタンのかわりにフェードインボタンを押します。

FADE IN

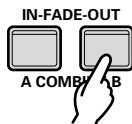


約 6 秒間でフェードインを行います。

フェードアウト録音

録音をやめる時に停止(■)や一時停止(▶/||)のかわりにフェードアウトボタンを押します。

FADE OUT



約6秒間でフェードアウトを行い、録音一時停止になります。



- 録音レベルが 13 以下のときはフェードイン録音、フェードアウト録音はできません。
- フェードイン録音、フェードアウト録音は、デジタル録音はできません。



A.S.E.S. 中 (P.48) にフェードアウトを行うと、フェードアウトした後 A.S.E.S. を終了して停止します。

CD のデジタル録音、アナログ録音を本体メニュー操作で選択するには

- ① ファンクションをCDあるいは外部機器(AUX)にする。(手順 7)
- ② MD を入れる(手順 2)
- ③ 録音ボタン(●)を押す。(手順 4)

このあとで

- ④ メニューボタン(MENU)を押す。
- ⑤ ジョグを回して "INPUT SELECT" を選ぶ

INPUT SELECT

- ⑥ セットボタン(SET)を押す。
- ⑦ ジョグを回して "ANALOG?" か "DIGITAL?" のいずれかを選ぶ。

DIGITAL ?

DIGITAL ANALOG

- ⑧ セットボタン(SET)を押す。
- ⑨ デジタルを選んだときは再生 / 一時停止ボタンを押して録音をはじめます。(手順 9, 10) アナログを選んだときは録音レベルを調整して録音をはじめます。(手順 5 ~ 10)

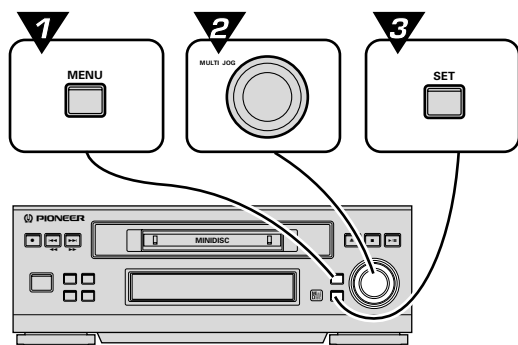


CD あるいは外部機器(AUX)でのデジタル録音、アナログ録音の設定は、最後の状態がメモリーされます。



MD の記録曲数は最大 255 曲ですが、録音、消去、編集をくり返すと、記録できる最大曲数が減ることがあります。この場合、全曲を消去すると元に戻ります。

MDに録音する



シンクロ録音する

デジタル録音、アナログ録音するときに、音楽等が始まると自動的にMDが録音を開始し、音楽等が終わると録音一時停止になります。このときスペースカットとオートマーク機能がはたらきます。(ラジオ放送およびMDファンクションでは、シンクロ録音は選べません)

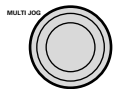
「マニュアル録音する」(33ページ)の 1 ~ 5 を行ってください。

- ① ファンクションを選ぶ
- ② MDを入れる
- ③ CDあるいは外部機器(AUX)の録音のときはデジタル録音 / アナログ録音を選ぶ(リモコン)
- ④ 録音ボタンを押す
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調節する

1 メニューボタン(MENU)を押す



2 ジョグを回して“SYNCHRO REC”を選ぶ



SYNCHRO REC

3 セットボタン(SET)を押す

S.CUT
A.MARK

4 ファンクションで選んだ機器を演奏する

- 音が出ると同時に録音をはじめます。
- 録音したい機器の演奏をはじめてください。
- 演奏が終わると録音一時停止状態になります。

録音を止める



シンクロ録音一時停止中あるいは録音中に▶/|| ボタンを押すと、シンクロ録音を解除して通常録音あるいは録音一時停止になります。

👍😊 シンクロマーク機能

CDのデジタル録音、外部機器(AUX)の録音ソースがCDあるいはMDのデジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。ただし録音ソースの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

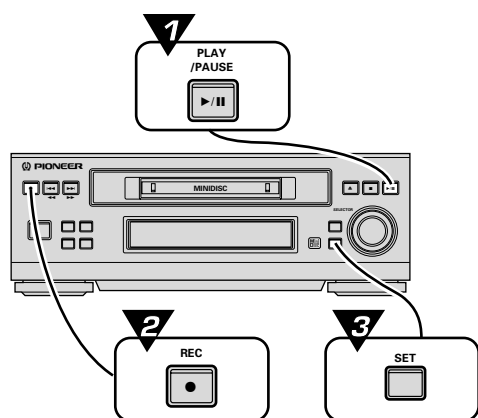
👍😊 スペースカット機能

- シンクロ録音時、演奏に4秒以上の無録音があるときは、自動的に録音の待機状態になります。このあと演奏がはじまると録音を再開します。(4秒間の曲間ができます)
- 演奏音の曲間に雑音があるとシンクロ録音やスペースカット機能が正しく働かないことがあります。その場合は、マニュアル録音してください。
- 非常に小さな音が4秒以上続く曲や、会話などはマニュアル録音を行ってください。
- 録音レベルの調整が低すぎる場合には、シンクロ録音が働かないことがあります。

👍😊 オートマーク機能

- 1.5秒以上の無音部分を曲間とみなして自動的に次の曲番をつける機能です。

MD に録音する



録音してある途中から録音する (オーバーライト録音)

新たに録音をはじめた位置以降の曲はすべて消えてしまいますのでご注意ください。

1

MD 再生中に録音をはじめたいところで再生 / 一時停止ボタンを押す




再生一時停止になります。

2

録音ボタンを押す



OVERWRITE?

オーバーライト録音をしない場合は  を押してください。

3

セットボタン (SET) を押す



録音一時停止になります。


「マニュアル録音する」(33 ページ) の **1** , **3** , **5** ~ **7** を行ってください。

- ① ファンクションを選ぶ。
- ② CD あるいは外部機器 (AUX) 録音のときはデジタル録音 / アナログ録音を選ぶ (リモコン)。
- ③ アナログ録音のときは録音レベルを調整する。
- ④ 再生 / 一時停止ボタンを押す。
- ⑤ ① で選んだ機器の演奏をはじめめる。

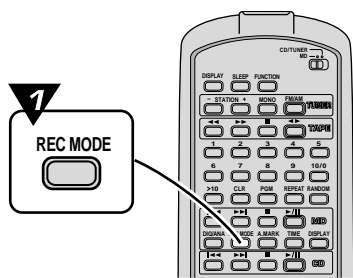
シンクロ録音をすることもできます ([P.35](#))。

録音を止める



3 で  を押すと、その位置以降の曲は消去されません。元に戻りたいときはアンドゥ (UNDO) 操作 ([P.47](#)) を行ってください。

MDに録音する



モノラルで長時間録音する

- ステレオモードの約2倍の時間の録音ができます。モノラル演奏の曲やトーク番組などの録音に便利です。
- デジタル録音、アナログ録音のどちらでもできます。

1 リモコンの録音モードボタン (REC MODE) でモノラルを選ぶ



MONO LP

2 「マニュアル録音する(33ページ)」の1~5を行う

- ① ファンクションを選ぶ。
 - ② MDを入れる。
 - ③ CDあるいは外部機器(AUX)録音のときはデジタル録音 / アナログ録音を選ぶ(リモコン)。
 - ④ 録音ボタンを押す。
 - ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調節する。
- シンクロ録音をすることもできます(P.35)。

3 録音側、再生側の再生 / 一時停止ボタンを押す

PLAY / PAUSE



録音がはじまります。

録音を止める

STOP



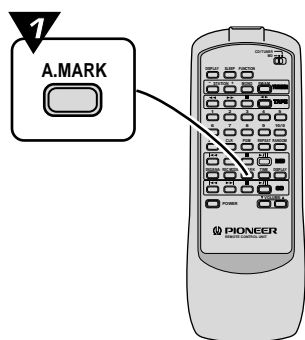
☺ 録音モードを本体メニュー操作で選択するには

- ① 「マニュアル録音する」(33ページ)の1~5を行う。左記手順の 2 です。
 - ② メニューボタン(MENU)を押す。
 - ③ ジョグを回して"REC MODE"を選ぶ
- REC MODE
- ④ セットボタン(SET)を押す。
 - ⑤ ジョグを回して"MONO"か"STEREO"のいずれかを選ぶ。
- MONO ?
- ⑥ セットボタン(SET)を押す。



- 次回の録音をモノラルにしてしまわないために、モノラルで録音した後は、ステレオ録音に切替えておくことをおすすめします。
- モノラル録音中でもレベルメーターはステレオで振れます。

MD に録音する



ひと続きの曲として録音する

オートマーク機能 [P.35] を使わずに、1回の録音を1つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。CDのアナログ録音、TAPEおよび外部機器(AUX)の録音で行えます。

1 リモコンのオートマークボタン (A.MARK)で"OFF"を選ぶ



2 「マニュアル録音する」(33ページ)の1~5を行う

- ① ファンクションを選ぶ。
- ② MDを入れる。
- ③ CD録音のときはアナログ録音を選ぶ(リモコン)。
- ④ 録音ボタンを押す。
- ⑤ 録音レベルを調節する。

3 録音側、再生側の再生 / 一時停止ボタンを押す



録音がはじまります。

録音を止める



😊 オートマークのオン / オフを本体メニュー操作で選択するには

- ① 「マニュアル録音する」(33ページ)の1~5を行う。左の手順の ❷ です。
 - ② メニューボタン(MENU)を押す。
 - ③ ジョグを回して "AUTO MARK" を選ぶ
- AUTO MARK
- ④ セットボタン(SET)を押す。
 - ⑤ ジョグを回して "ON" か "OFF" のいずれかを選ぶ。
- A.MARK OFF ?
- ⑥ セットボタン(SET)を押す。



オートマークのオン / オフの設定はファンクションごと、およびリミックスモードでの最後の設定を記憶します。例えば、CD や TAPE からは音楽を録音するのでオンにする。外部機器(AUX)はトークといっしょに録音するからオフにする。などを1度設定しておく、録音のたびに設定する必要がなくなり、便利です。



CDのデジタル録音、外部機器(AUX)の録音ソースがCDあるいはMDのデジタル録音およびラジオ放送の場合は、オートマーク機能は常にオフとなります。オンは選べません。



CDのデジタル録音、外部機器の録音ソースがCDあるいはMDのデジタル録音の場合には、ソースの曲番と同じところに1曲ごとの曲番が自動的に付きます(シンクロマーク機能)。

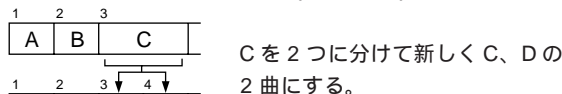
ただし、録音ソースの曲番と、録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

MD 編集機能の使いかた

編集メニューについて

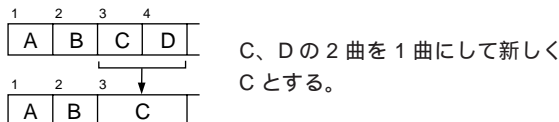
編集機能を使って自分だけのディスクづくりができます。

- ① 1つの曲を2つの曲に分ける(デバイド)



分けた曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

- ② 連続している2つの曲をつないで1つの曲にする(コンパイン)



つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えます。

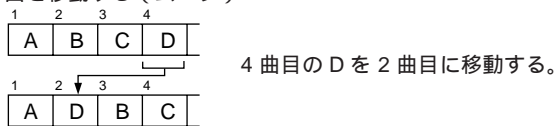
- ③ 曲の途中と途中をつないで1つの曲にする(A-Bコンパイン)



Ⓐ-Ⓑ間は消去されます。

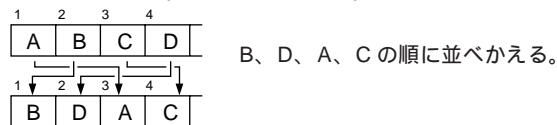
つないだ曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

- ④ 曲を移動する(ムーブ)



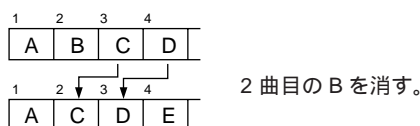
並べかえた後の曲番は自動的に付け変えます。

- ⑤ 曲を並べかえる(プログラムムーブ)



プログラム演奏で指定した順に曲を並べかえます。並べかえた後の曲番は自動的に付け変えられます。

- ⑥ 1曲または全曲を消してしまう(イレース/オールイレース)



消した曲は曲名ごと消えます。

全曲を消したときはディスク名も消えます。

消した曲以降の曲番は自動的に付け変えます。

- ⑦ ディスクや曲に名前を付ける(ネーム)

アルファベット(A~Z、a~z)数字、記号、カタカナで名前を付けることができます。

- ⑧ 今した編集をキャンセルして編集前の状態に戻す(アンドゥ)

今した編集をやり直したい場合に、その編集をキャンセルして編集前の状態に戻します。

CDやテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、以下の手順で、自分だけのオリジナルディスクが作れます。

1. デバイド、コンパイン機能で曲を整理する。
2. イレース機能でいらぬ曲、トーク、CMを消す。
3. ムーブ機能で曲を並びかえる。または、プログラムムーブ機能で、プログラムした順に曲を並べかえる。
4. ネーム機能で曲名、ディスク名を付ける。

注意!!


誤消去防止状態になっているMD(P.16)では、編集メニューは使えません。編集メニューを使用する場合は録音可能状態(誤消去防止つまみを閉じる)にしてください。

編集メニューの選択

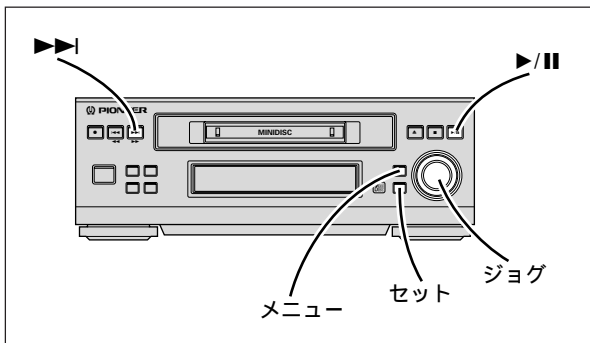
MDレコーダーの状態(動作モード)により選べる編集メニューが異なります。どのメニューが選択できるかは下表を参照してください。

印の編集メニューが選べます。

	デバインド	コンパイン	A-Bコンパイン	ムーブ	プログラムムーブ	イレース	オールイレース	トラックネーム	ディスクネーム	アンドゥ
ディスクネーム表示か タイム表示で停止中	×	×	×	×	×	×		×		
録音中 / 録音待機中	×	×	×	×	×	×	×		×	×
曲番表示で停止中	×		×		×		×		×	×
再生中	×	×		×	×	×	×		×	×
再生一時停止中			×		×		×		×	×
プログラムされていて 停止中	×	×	×	×		×	×	×	×	×

停止中に  ボタンを押します。

MD 編集機能の使いかた



1つの曲を2つに分ける(デバイド)

(例) 3 曲目を 2 つに分ける場合

- 3 曲目を再生し、分けたいところで、再生 / 一時停止ボタン(▶/||)を押す。
- メニューボタンを押す。
- ジョグを回して“ DIVIDE ”を選ぶ。

DIVIDE

- セットボタンを押す。

DIVIDE OK?

分けて良いかを確認する表示です。

- セットボタンを押す。

“ COMPLETE ” と表示が出て曲が分けられます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。



- 分けた曲に曲名が付いていたときは、両方に同じ曲名が付きます。
- 1 枚の MD で最大 255 曲まで曲を分けることができます。(MD の状態によってはできないこともあります。)

2つの曲を1つにつなぐ(コンバイン)

選んだ曲と、その前の曲をつなぎます。
(例) 4 曲目と 5 曲目をつなぐ場合

- 停止中に▶▶ボタンで 5 曲目を選ぶ。あるいは 5 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン(▶/||)を押し、一時停止状態にする。
- メニューボタンを押す。
- ジョグを回して“ COMBINE ”を選ぶ。

COMBINE

- セットボタンを押す。

COMB 4+ 5?

つないで良いかを確認する表示です。

- セットボタンを押す。

“ COMPLETE ” 表示が出て、4 曲目と 5 曲目が 4 曲目として 1 つになります。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。



- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。

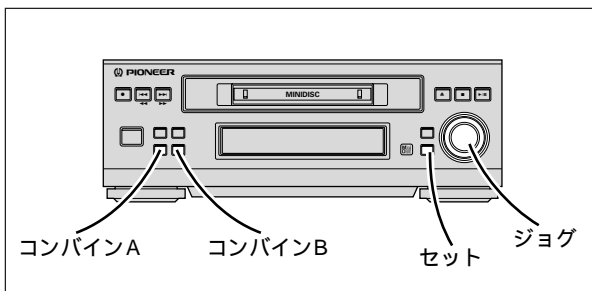


- つないだ曲に曲名が付いているときは、前の曲(例では 4 曲目)の曲名が付きません。前の曲名が付いていないときは後の曲名が付きません。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。



曲の途中までと、途中からをつなぎたいときは A-B コンバインを参照してください。

MD 編集機能の使いかた

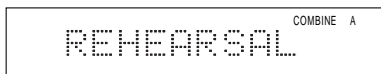


曲の途中をつなぐには(A-B コンバイン)

(例)3 曲目の途中までと 4 曲目の途中からをつなぐ場合

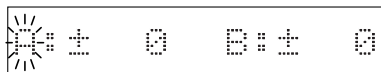
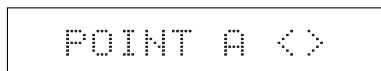
1 3 曲目を再生し、つなぎたいところにきたらコンバイン A ボタンを押す。

2 4 曲目を選び、つなぎたいところでコンバイン B ボタンを押す。



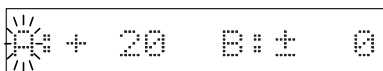
A-B 間をつないだ音声のリハーサルを行います。A パート再生中は "A" が、B パート再生中は "B" が点灯します。

3 コンバイン A ボタンを押す。



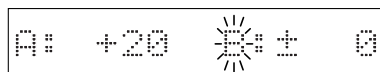
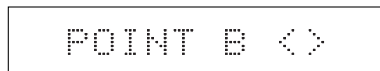
4 ジョグを回して A の位置を微調整する。

+ にすると曲のうしろの方にポイントが移動し、- にすると曲の前の方にポイントが移動します。

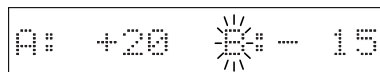


回すたびにリハーサルを最初から行います。

5 コンバイン B ボタンを押す。



6 ジョグを回して B の位置を調整する。



回すたびにリハーサルを最初から行います。

7 リハーサルの音を聞いて希望どおりにつながったらセットボタンを押す。

"COMPLETE" と表示が出て、A と B がつながり(A-B 間は消去されます)、3 曲目と 4 曲目が 3 曲目として 1 つになります。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- リピート再生中やランダム再生中は操作できません。
- プログラムをセットしているときと操作できません。プログラム解除してください。
- リハーサル中に "COMBINE" 表示が消えている場合は、音声はつながりますが、曲番は 1 つにつながりません。

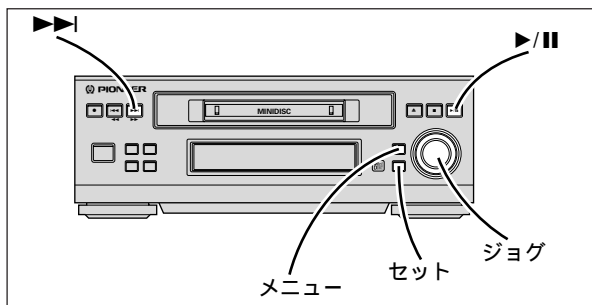


- B の位置は A の位置より後にしか調整できません。A 点、B 点の調整中に "POINT ERROR" が表示されたときは、A 点、B 点の位置が正しい位置ではないので、表示が消える位置まで戻してください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなげません。
- ステレオモードで録音した曲と、モノラル長時間録音した曲はつなげません。
- 15 秒以下の短い曲はつながらないことがあります。



- A、B の位置は約 11.6ms を 1 ステップとして - 176 ~ 0 ~ 176 ステップまで調整できます。
- つないだ曲に曲名がついているときは、前の曲(例では 3 曲目)の曲名がつきます。前の曲名がついていないときは後の曲名がつきます。
- 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能で曲を連続させてから A-B コンバイン機能でつないでください。

MD 編集機能の使いかた



曲を移動する (ムーブ)

(例) 8 曲目を 5 曲目に移動する場合

- 1 停止中に ▶▶ ボタンで 8 曲目を選ぶ。あるいは 8 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押し、一時停止状態にする。

- 2 メニューボタンを押す。

- 3 ジョグを回して “ MOVE ” を選ぶ。

MOVE

- 4 セットボタンを押す。

MOVE 8→ 8?

- 5 ジョグを回して移動先を “ 5 ” にする。

MOVE 8→ 5?

- 6 セットボタンを押す。

“ COMPLETE ” と表示が出て、8 曲目を 5 曲目に移動します。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラム解除してください。
- リピート再生やランダム再生は解除されます。

曲を並べかえる (プログラムムーブ)

- 1 並べかえたい順にプログラムする。

プログラムのしかたは [P]29 をご覧ください。

- 2 メニューボタンを押す。

PGM MOVE

- 3 セットボタンを押す。

PGM MOVE ?

並べかえて良いかを確認する表示です。

- 4 セットボタンを押す。

“ COMPLETE ” の表示が出てプログラムした曲の順に並べかえます。

プログラムは解除されます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムしなかった曲は、プログラムした曲のうしろに並びます。
- 同じ曲を 2 回以上プログラムしているときはうしろにプログラムした方を優先して並べかえます。

曲を消す (イレース)

- 1 曲または全曲を消します。

- 1 曲を消す (トラックイレース)

(例) 6 曲目を消す場合

- 1 停止中に ▶▶ ボタンで 6 曲目を選ぶ。あるいは 6 曲目を再生して、再生 / 一時停止ボタン (▶/||) を押し、一時停止状態にする。

- 2 メニューボタンを押す。

- 3 ジョグを回して “ ERASE ” を選ぶ。

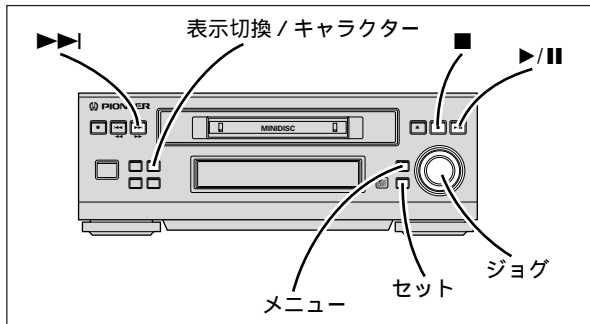
ERASE

- 4 セットボタンを押す。

ERASE 6?

消して良いかを確認する表示です。

MD 編集機能の使いかた



5 セットボタンを押す。

“COMPLETE” の表示が出て 6 曲目が消えます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。

全曲を消す (オールイレース)

- 1 停止ボタン(■)を押してタイム表示がディスクネーム表示にする。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ジョグを回して “ALL ERASE” を選ぶ。

ALL ERASE

4 セットボタンを押す。

ALL ERASE?

消して良いかを確認する表示です。

5 セットボタンを押す。

“COMPLETE” の表示が出て全曲が消えます。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。



- プログラムをセットしていると操作できません。プログラムを解除してください。
- リピート演奏やランダム演奏は解除されます。

曲やディスクに名前をつける(ネーム)

1 枚の MD には 1 つのディスク名と、最大 255 曲の曲名をつけることができます。

使用できる文字は

- アルファベット(大文字)
 - アルファベット(小文字)
 - 数字、記号
 - カタカナ
- です。(P.74) をご覧ください。)

曲に名前をつける (トラックネーム)

つけた曲名は、曲を選んだときや再生中に表示されます。

(例) 5 曲目に “JAZZ” と付ける場合

- 1 停止中に ▶▶ ボタンで 5 曲目を選ぶ。あるいは 5 曲目を再生する。

2 メニューボタンを押す。

TRACK NAME

3 セットボタンを押す。

⊗ ←A

- 4 表示切換 / キャラクターボタンを押して文字の種類を選ぶ。

アルファベット(大文字) — アルファベット(小文字)
カタカナ — 数字、記号

- 5 ジョグを回して 1 文字目に “J” を選ぶ。

⊗ ←J

6 セットボタンを押す。

⊗ ←J

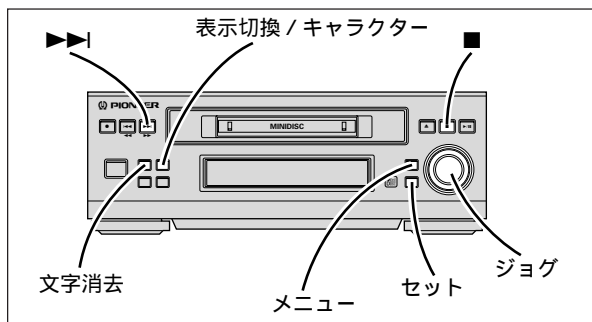
- 7 4 ~ 6 を繰返して文字を入れる。
例の場合は文字の種類が同じなので 5, 6 を繰返します。

JAZZ ⊗ ←Z

6 メニューボタンを押す。

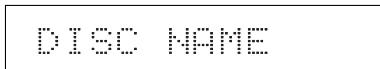
選んだ曲(5 曲目)に “JAZZ” という名前が付きます。

MD 編集機能の使いかた

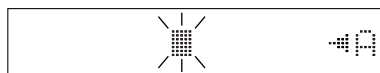


ディスクに名前をつける（ディスクネーム）つけた名前は MD を入れたときなどに表示されます。

- 1 停止ボタン(■)を押してタイム表示あるいはディスクネーム表示にする。
- 2 メニューボタンを押す。



- 3 セットボタンを押す。



以下は、曲に名前を付ける場合の4以降と同じように操作して名前を付けてください。

- ① 表示切換/キャラクターボタンで文字の種類を選ぶ。
- ② ジョグを回して文字を選ぶ。
- ③ セットボタンを押す。
- ④ ① ~ ③ を繰り返す。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(■)を押してください。



- プログラムをセットしているときは操作できません。プログラムを解除してください。
- 本機で入力したカタカナ文字は、他の機器では正しく表示されないことがあります。また、他の機器で入力したカタカナは本機で正しく表示されないことがあります。



- 録音中に曲名入力をしていて、入力が完了するまでに次の曲になったときは、録音が終わってからつづきを入れてください。
- 再生中に曲名入力した場合は、入力が終了するまでリピート再生します。



- 1つの名前は100文字までです。
- 1枚のMDに入れられる総文字数は1,700文字ですが、カタカナを使うと入れられる総文字数は減ります。文字数を超えると"NAME FULL"と表示します。

ネームの修正のしかた

文字を消す

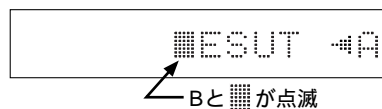
消したい文字を点滅させて、文字消去ボタンで消します。
(例)"BESUT"を"BEST"に修正する場合

1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名するとき:
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名するとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

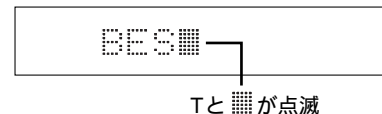
3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。



4 ▶▶ ボタンを3回押して"U"を点滅させる。



5 文字消去ボタン(DELETE)を押す。



6 メニューボタンを押す。

消去が終了します。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(■)を押してください。

MD 編集機能の使いかた

文字を追加する

追加したい位置のうしろの文字を点滅させて追加します。
(例)"ROK"を"ROCK"に修正する場合

1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名るとき:
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。



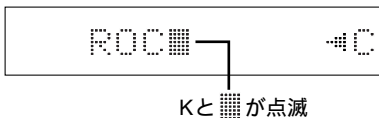
4 ▶▶ ボタンを 2 回押して追加する位置のうしろの文字 "K" を点滅させる。



5 ジョグをまわして "C" を選ぶ。



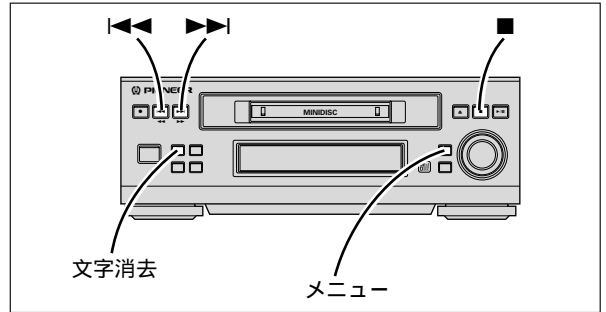
6 セットボタンを押す。



7 メニューボタンを押す。

追加が終了します。

途中でネーム操作をやめたいときは停止ボタン(■)を押してください。



文字を変更する

1 修正する名前を選ぶ。

- 曲名るとき:
修正したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。

この後、◀◀あるいは▶▶で変更したい文字を点滅させ、変更したい文字を消し、文字の追加で正しい文字を入力してください。

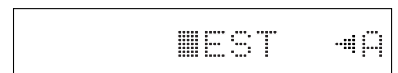
曲名、ディスク名を消す

1 消したい名前を選ぶ。

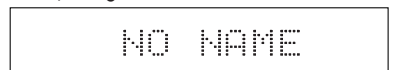
- 曲名るとき:
名前を消したい曲を選ぶ、または再生する
- ディスク名るとき:
停止ボタン(■)を押す。

2 メニューボタンを押す。

3 "DISC NAME" または "TRACK NAME" を選んでセットボタンを押す。

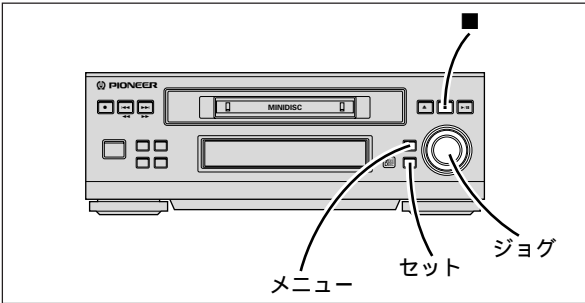


4 文字消去ボタン(DELETE)を 2 秒以上押しつづける。



消去が終了します。

MD 編集機能の使いかた



編集をキャンセルして編集前の状態に戻す (アンドゥ: UNDO)

編集を行った後で、1つ前の編集をキャンセルすることができます。

アンドゥでキャンセルできる編集の種類

- ムーブ
- プログラムムーブ
- デバインド
- コンバイン
- A-B コンバイン
- イレース
- オールイレース
- ネームの入力、変更、消去
(停止中に操作したネームのみ)

編集操作ではありませんが、次の場合もアンドゥで元に戻すことができます。

- オーバーライト録音(36ページ)の録音一時停止時に消去した曲

アンドゥでキャンセルできなくなる条件

次の操作を行うと1つ前の編集のキャンセルはできなくなりません。

このとき、^{キャンセル} "Can't UNDO" ^{アンドゥ} と表示されます。

- MD 取出しを行ったとき(UTOC の書換えを実行)
- 電源を切ったとき(UTOC の書換えを実行)
- 停電したとき
- 新たな編集操作をしたとき
- 録音を開始したとき
- アンドゥを行ったとき

- 1 停止ボタン(■)を押してタイム表示またはディスクネーム表示にする。
- 2 メニューボタンを押す。

DISC NAME

- 3 ジョグを回して "UNDO" を選ぶ。

UNDO

- 4 セットボタンを押す。

UNDO?

アンドゥして良いかを確認する表示です。

- 5 セットボタンを押す。

"COMPLETE"と表示が出て、編集をキャンセルします。

中止したいときは、メニューボタンを押してください。

アセス 自動編集録音 (A.S.E.S.) のしかた

アセス オート シンクロ エディティング システム
 A.S.E.S.とは、Auto Synchro Editing System のことです。CDをMDやテープ、MDをテープ、テープをMDへ自動編集録音する機能です。本機では再生順、またはプログラム再生順に録音します。テープへの録音時に、曲の途中でA面の録音が終わったときは、その曲はB面のはじめから録音されません。

注意!!

- 誤消去防止ツメの折ってあるカセットテープを入れた場合は、A.S.E.S.はできません。
- 再生専用のMDに録音しようとした場合、または録再用MDであっても誤消去防止つまみが開いているMDに録音しようとしてもA.S.E.S.はできません。
- A.S.E.S.動作時、テープの終わり近くで次の曲に移ったり、CDが演奏を終えると、動作が中断したり、正しく動作しない場合があります。このときは、その曲以降をA.S.E.S.を使わないで録音してください。

A.S.E.S.を行うときは、CD、MD、カセットデッキを下表のように設定してください

録音のしかた	チューナーアンプのファンクション	CDプレーヤー	MDレコーダー	カセットデッキ
CD MD	CD	CDにディスクを入れる	録音用MDを入れる	—————
CD TAPE	CD	CDにディスクを入れる	—————	録音用テープを入れる
MD TAPE	MD	—————	再生用MDを入れる	録音用テープを入れる
TAPE MD	TAPE	—————	録音用MDを入れる	再生用テープを入れる

アセス 自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた

3 演奏する機器を設定する。

CDを録音するとき

- ① CDを入れる。
- ② 停止ボタン(■)を押して停止する。
- ③ サーチボタン(◀▶▶▶)で開始曲を選ぶ。

プログラム演奏でアセスするときはプログラムしておきます。

リピート演奏でアセスするときはリピートをオンにしておきます。

MDを録音するとき

- ① MDを入れる。
- ② 停止ボタン(■)を押して停止する。
- ③ サーチボタン(◀▶▶▶)で開始曲を選ぶ。

プログラム演奏でアセスするときはプログラムしておきます。

リピート演奏でアセスするときはリピートをオンにしておきます。

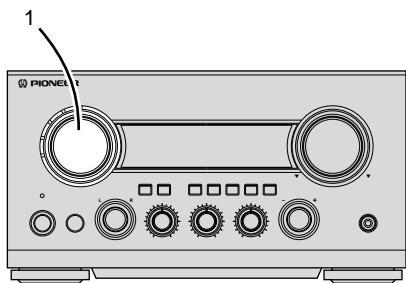
テープを録音するとき

- ① 再生をはじめたい面を上にしてテープを入れる。
- ② 再生をはじめめる位置を探して停止させる。

アセスではフォワード方向(▶)から再生をはじめます。

注意!!

- アセス中はチューナーアンプのファンクションは切換えられません。
- デジタルコピー済のCD-RをMDへアセスすることはできません。
- アセス中には、再生、録音機器のディスクやテープは取り出すことはできません。



操作のしかた

1 チューナーアンプのファンクションを選ぶ。

48 ページの表を参照してください。

2 録音する機器を設定する。

MDに録音するとき

(CD、TAPE からの録音)

- ① 録音可能なMDを入れる。
- ② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する (P.37)。
- ③ CDを録音する場合にはデジタル録音かアナログ録音かを選択する (P.33)。
リミックスでCDを録音するときはアナログ録音のみが可能です。
- ④ アナログ録音のときは、オートマークを行うか、行わないかを選択する (P.38)。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する (P.33)。

テープに録音するとき

(CD、MD からの録音)

- ① 録音可能なテープを入れる。
- ② ドルビーNRを選択する (P.27)。
- ③ リバースモードを選択する (P.27)。
アセスではフォワード方向(▶)から録音をはじめます。

☞ 次ページへ続きます。

準備

基本操作

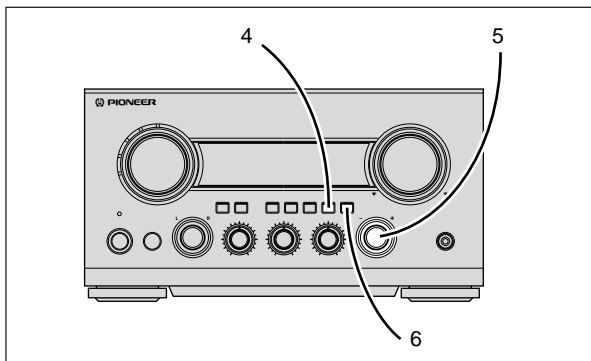
MD編集

応用操作

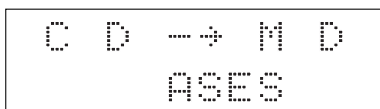
リミックス

その他

アセス 自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた



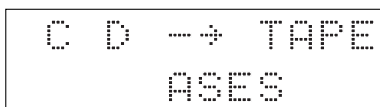
4 アセスボタンを押す。



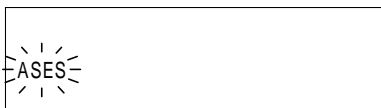
演奏側と録音側の機器を表示します。
図はCDからMDへのアセスです。

5 CDを録音する場合はチューニング ジョグを回して録音する機器を選ぶ。

MDまたはTAPEが選べます。



6 セットボタンを押す。



アセスをはじめます。

アセスでの録音を中止したいとき

演奏側、録音側いずれかの停止ボタン(■)を押します。

アセスの設定を中止したいとき

アセスボタンを押します。



MDに録音している場合に、MDレコーダーのフェードアウト(34ページ)を行うと、フェードアウトした後にアセスを終了します。

アセス エラー

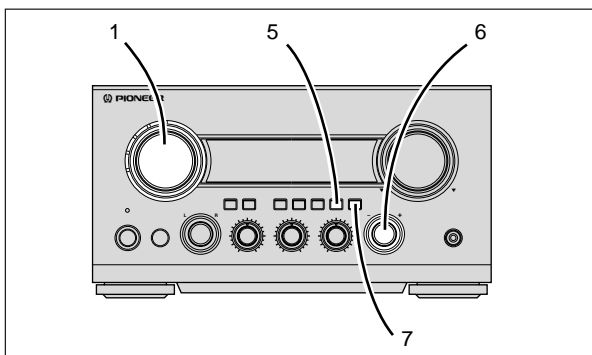
ASES ERRORの表示が出たときは

再生側、録音側の機器がアセス可能な状態でないときに"ASES ERROR"という表示をします。

以下の項目を調べてみてください。

- ① CD、MD、テープは入っていますか？
- ② 誤消去防止ツメの折れたテープを録音用に使っていませんか？
⇒ 別のテープを使うか、誤消去防止ツメを折った穴をテープでふさいでください。(P.18)
- ③ 誤消去防止状態(誤消去防止つまみが開いている)のMDを録音用に使っていませんか？
⇒ 別のMDを使うか、つまみを閉じてください。
- ④ 再生用MDを録音用に使っていませんか？
⇒ 録音用MDを使う。
- ⑤ 録音可能な時間が残っていないMDを使っていませんか？
⇒ 録音可能なMDを使う。
- ⑥ ファンクションがTUNERやAUXになっていませんか？
⇒ 演奏する機器に合わせて正しく設定してください。
- ⑦ 演奏、録音する機器は停止状態になっていますか？
⇒ 停止ボタンを押して停止させてください。

アセス
自動編集録音(A.S.E.S.)のしかた



リミックスでCDをMDまたはテープにアセスする

1 チューナーアンプのファンクションをCDにする。

2 録音可能なMDを入れる。

[MDに録音するとき]

MDの録音のしかたを設定してください。

49ページ手順2の「MDに録音するとき」を参照してください。リミックスでアセスする場合、MDはアナログ録音のみとなります。



リミックスオンでCDをMDに録音するときは、チューナーアンプの音質設定によってCDのレベルが変化しますので、録音レベルの調整を必ず行ってください。

[テープに録音するとき]

49ページ手順2の「テープに録音するとき」を参照してください。

3 リミックスコントローラーのリミックスボタンを押してリミックスをオンにする。



4 キューポイントを設定する。

オートキューで設定する場合 (P.60)

- ① BPM TAP/ オートキューボタンを2秒以上押し続けてオンにする。
- ② CDプレーヤーのサーチボタン (◀▶) で録音したい曲の頭出しをする。
キューポイントで演奏待機になります。

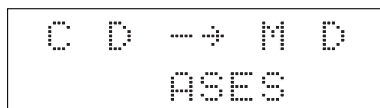
キューポイントメモリーで設定する場合 (P.60)

録音をはじめたいところを探し、キューポイントをメモリーします。

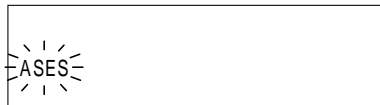
リミックス操作は57ページをご覧ください。

5 アセスボタンを押す。

6 チューニングジョグを回して録音する機器(MDまたはTAPE)を選ぶ。



7 セットボタンを押す。



キューポイントからアセスをはじめます。



オートキューがオンの場合は1曲のみのアセスとなります。1曲が終了するとキューポイントに戻って演奏待機になります。



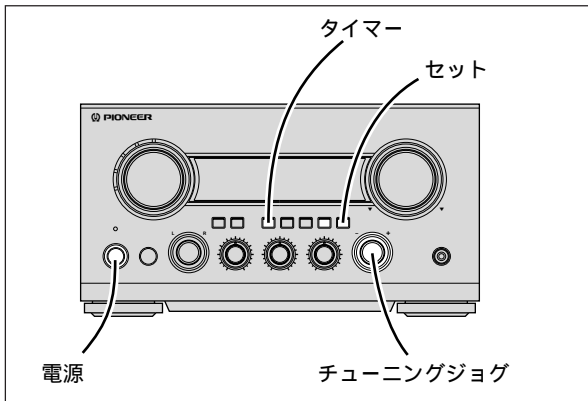
キューポイントメモリーを設定してからアセスした場合、アセスが終了するとCDはキューポイントに戻って演奏待機になります。



- 希望のテンポやマスターテンポで録音できます。59ページをご覧ください。
- 手順4でループを設定した後にキューポイントで演奏待機にしておくとループでアセスを開始します。ループでアセス中にループボタンでループを解除できます。62ページをご覧ください。

タイマーの使いかた

時計を合わせていないとタイマーが使えません。
必ず時計合わせをしてください。 **[P.19]**



好きな音楽で目覚める (ウェイクアップタイマー)

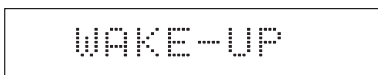
ウェイクアップタイマーは毎日動作します。
タイマー設定時のファンクション、音量を記憶し、その内容で演奏をはじめます。

“まずはじめに”

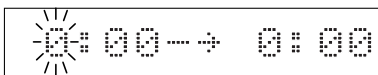
- 再生したいファンクションにして準備をする。
- CD : ディスクをセットしておきます。
 - チューナー : 聞きたい放送局に合わせてください。
タイマー設定時の放送局が記憶されます。
 - テープ : カセットテープをセットしておきます。
再生はフォワード方向(▶)からはじまります。
 - MD : ディスクをセットしておきます。
- 音量を調整しておく。
この時設定している音量でタイマーオンします。

(例) 午前7時30分にタイマーオンし、午前9時15分にタイマーオフするように設定する場合。

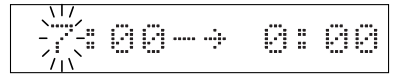
1 タイマーボタンを押す。



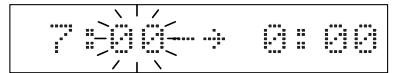
2 セットボタンを押す。



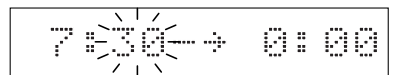
3 チューニングジョグを回して“7時”にする。



4 セットボタンを押す。



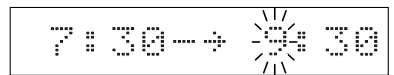
5 チューニングジョグを回して“7時30分”にする。



6 セットボタンを押す。



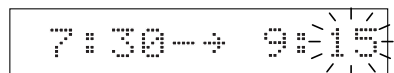
7 チューニングジョグを回して“9時”にする。



8 セットボタンを押す。



9 チューニングジョグを回して“9時15分”にする。

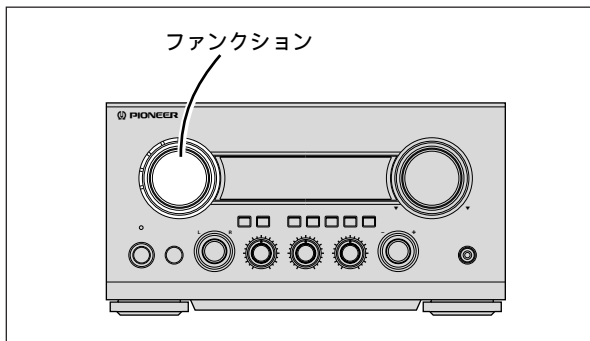
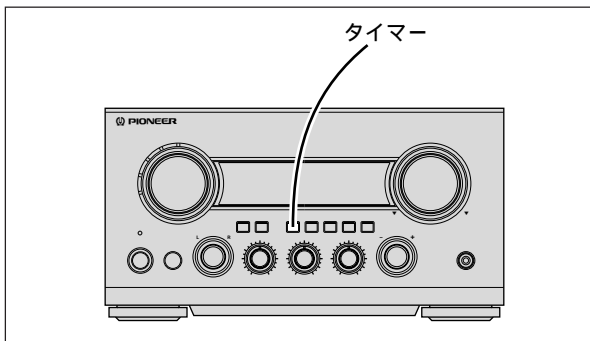


10 セットボタンを押す。

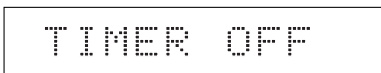
チェックモードになります。
開始時刻、終了時刻、ファンクション、音量を表示します。
⓪が点灯します。

11 電源を切る。

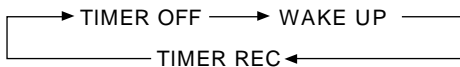
タイマーの使いかた



< タイマー動作をしないようにするには >
電源オフのときにタイマーボタンを押して“TIMER OFF”を選びます。



ボタンを押すたびに次のように切替わります。



TIMER REC は録音タイマーを設定した場合に選べます。
タイマー演奏が始まってから TIMER OFF にしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >
タイマーボタンを押して“WAKE UP”を選びます。

< タイマー設定を途中で中止したいときは >
設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

< タイマーの内容を変えたいときは >
最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >
タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。



- ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎日、同時刻に実行されます。音量は設定したレベルまでフェードイン（徐々に大きくなる）します。



- 電源を切る前にリミックスがオンであってもタイマー動作はリミックスオフとなります。



- ウェイクアップタイマーと録音タイマーとの併用はできません。
- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

ラジオ放送または外部入力を留守録音する（タイマー録音）

録音タイマーは設定した 1 回だけ動作します。

“まずはじめに”

- 録音したいファンクションにして準備をする。
- チューナー : 録音したい放送局に合わせてください。タイマー設定時の放送局が記憶されます。
 - 外部入力 (AUX) : タイマー録音開始時刻前に外部機器が演奏されるように準備します。

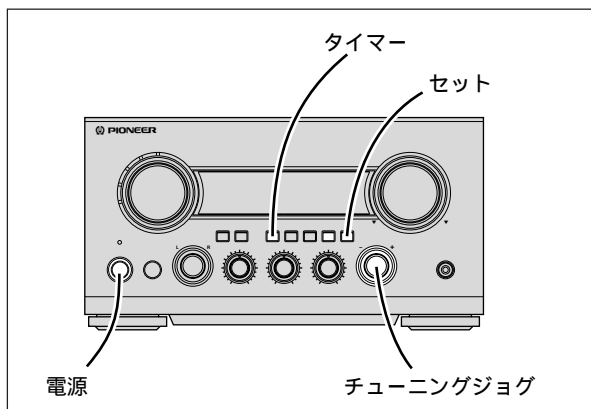
(例) 午後 8 時 30 分から午後 10 時 15 分までラジオ放送を MD に録音する場合

1 録音する機器を設定する。

MD に録音するとき

- ① 録音可能な MD を入れる。
- ② ステレオ録音かモノラル長時間録音かを選択する (P.37)。
- ③ 外部入力を録音するとき、デジタル録音かアナログ録音かを選択する (P.33)。ラジオ放送の録音はアナログ録音となります。
- ④ オートマークを行うか、行わないかを選択する (P.38)。
- ⑤ アナログ録音のときは録音レベルを調整する (P.33)

タイマーの使いかた



テープに録音するとき

- ① 録音可能なテープを入れる。
- ② ドルビー NR を選択する (**[P27]**)。
- ③ リバースモードを選択する (**[P27]**)。
タイマー録音ではフォワード方向(▶)から録音をはじめます。

2 タイマーボタンを押す。

WAKE-UP

3 チューニングジョグを回して “TIMER REC” を選ぶ。

TIMER REC

4 セットボタンを押す。

0:00 → 0:00

5 チューニングジョグを回して“ 20時 ” にする。

20:00 → 0:00

6 セットボタンを押す。

20:00 → 0:00

7 チューニングジョグを回して“ 20時 30分 ”にする。

20:30 → 0:00

8 セットボタンを押す。

20:30 → 20:30

9 チューニングジョグを回して“ 22時 ” にする。

20:30 → 22:30

10 セットボタンを押す。

20:30 → 22:30

11 チューニングジョグを回して“ 22時 15分 ”にする。

20:30 → 22:15

12 セットボタンを押す。

TUNER → M D

13 チューニングジョグを回して録音機器 を選ぶ。

(例)の場合はMDになっていますのでつまみを回す必要はありません。テープに録音するときは"TAPE"を選びます。

14 セットボタンを押す。

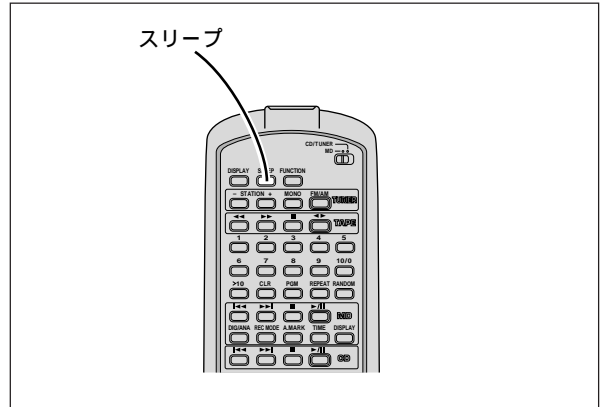
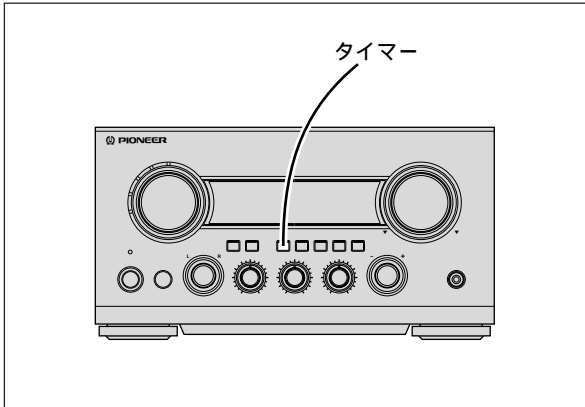
チェックモードになります。

開始時刻、終了時刻、ファンクション(放送のときは受信放送局)、録音機器、音量(0)を表示します。

Ⓛ REC が点灯します。

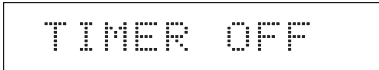
15 電源を切る。

タイマーの使いかた

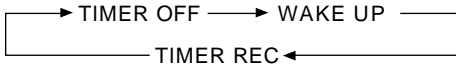


< タイマー動作をしないようにするには >

電源オフのときタイマーボタンを押して“TIMER OFF”を選びます。



ボタンを押すたびに次のように切り替わります。



WAKE UP はウェイクアップタイマーを設定した場合に選べます。

タイマー録音が始まってから TIMER OFF にしたときは、オフ時刻になっても電源は切れません。

< 再度タイマー動作をさせたいときは >

タイマーボタンを押して“TIMER REC”を選びます。同じ設定内容でタイマー録音できます。

< タイマー設定を途中で中止したいときは >

設定中にタイマーボタンを押すと中止できます。

< タイマーの内容を変えたいときは >

最初から設定し直してください。

< 設定操作中に内容をまちがえたときは >

タイマーボタンを押して設定を中止し、最初から設定し直してください。



タイマー録音時は音量は自動的に“0”になります。

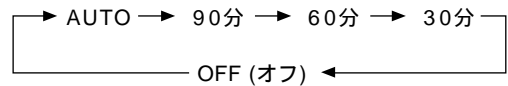


- タイマー録音とウェイクアップタイマーとの併用はできません。
- タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

音楽を聞きながら眠る (スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

スリープボタンを押す。



AUTO (オートスリープ):

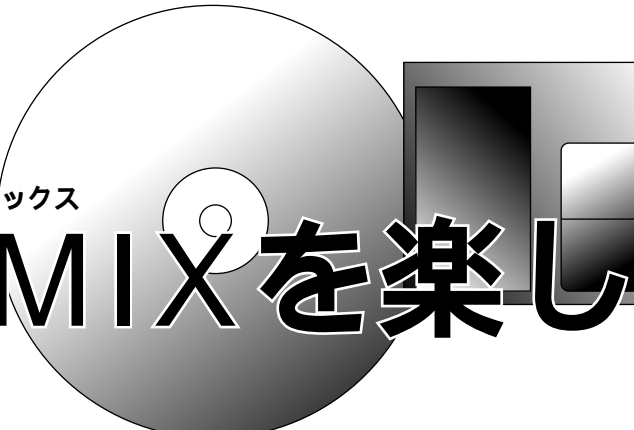
CD、MD、テープの再生中または MD、テープの録音中に選べます。再生または録音が終わると数分後に電源が切れます。



- リミックスがオンのときはオートスリープは選べません。
- タイマー動作(ウェイクアップ/録音)中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。



- スリープタイマー中にスリープボタンを押すと、残り時間を表示します。



リミックス REMIXを楽しもう!!

< リミックスでできること >

カッコ内の数字は参照ページを示します。

- CD および MD の同時演奏
CD および MD の操作が行えて 2 つの音声を足し合わせることができます。
- ① テンポコントロール
CD の演奏の速さ (テンポ) を $\pm 10\%$ までコントロールできます。(P.59)
- ② マスターテンポ
テンポを変えても音程は元のままにします。(P.59)
- ③ タップ BPM カウンター
曲に合わせて自分で拍子をとってボタンを押すと、それをもとに BPM (Beat Per Minute : 1 分間の拍子数) を計算します。(P.59)
- ④ キューポイントメモリー
キューポイント (曲の頭出し位置) を任意の位置に設定し、瞬時にスタートできます。(P.60)
- ⑤ オートキュー
次に演奏する曲の頭で待機、演奏ボタンで瞬時スタートできます。(P.60)
- ⑥ ループプレイ
1 ~ 10 秒までの気に入ったフレーズを途切れなく連続リピート演奏できます。(P.62)
- ⑦ サンプラー録音 / 再生
気に入ったところをサンプルとして録音 (約 1.4 秒) しておき、演奏音に重ねて楽しめます。(P.63)
- ⑧ MD カットインレコ
CD を MD につなぎめなく録音できます。自分だけのオリジナル・ノンストップ MD がつくれます。(P.64)

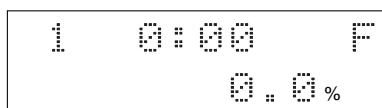
リミックスを楽しもう!!

リミックス機能を楽しむには

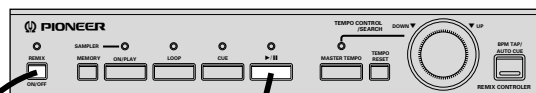
ファンクションをCDにして
リミックスボタンを押す

リミックスインジケータ
が点灯します。

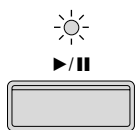
チューナーアンプの表示



もう一度押すとオフになります。



演奏 / 一時停止を押して演奏開始



演奏 / 一時停止インジ
ケータが点灯します。

リミックスがオンのときのファンク
ション切換えについて

- ファンクションはCDに固定され、ファンクションつまみ、およびリモコンのファンクションボタンによる切換えは行なえません。
- ファンクションを切換えたい場合は、リミックスをオフにしてから切換えてください。

リミックスをオフにすると

- キューポイントメモリー、サンプラー録音は消去されます。



リミックスをオンにすると、CDの機能の一部の動作が変わります。

● 通常演奏

オートキューがオンになっていると、1曲の演奏が終了と、次の曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）になります。
この時、演奏 / 一時停止ボタンのインジケータが点滅します。演奏 / 一時停止ボタンを押すと演奏をはじめます。

● 一時停止

音が出た状態で一時停止します。

● トラックサーチ (◀◀▶▶)

オートキューがオンのときは、指定曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）になります。

● リピート演奏

1曲リピート：

● オートキューがオンのときは、曲の演奏が終了と曲の最初に戻り、音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● その曲内でキューポイントメモリーをしているときは、キューポイントに戻って一時停止します。

全曲リピート：

● オートキューがオンのときは、最後の曲の演奏が終了と、最後の曲の最初に戻り、音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● キューポイントメモリーをしているときは、キューポイントに戻って一時停止します。

● ランダム演奏

オートキューがオンのときは、1曲の演奏が終了と、次に選ばれた曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

● プログラム演奏

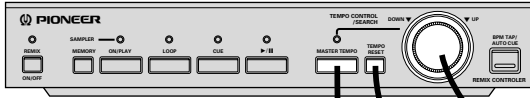
● オートキューがオンのときは、次のステップの曲の音が出る位置で一時停止（キューポイントポーズ）します。

リミックスを楽しもう!!

テンポコントロール
マスターテンポ
タップBPMカウンター

演奏の速さを変えよう

(テンポコントロール)



演奏中にジョグを回す

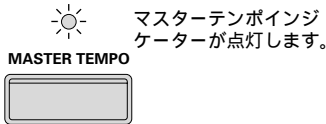
速くしたいとき-----右に回す
遅くしたいとき-----左に回す

チューナーアンプの表示

曲番号	時間	フレーム表示
3	2:15	45F
		+10.0%

テンポを変えても音程は元のままにしたいときは(マスターテンポ)

マスターテンポボタンを押す



すぐにオリジナルのテンポに戻したいときは(テンポリセット)

テンポリセットボタンを押す



注意!!

マスターテンポとサンプラーは同時には選択できません。また、この機能を切換えたとき、キューポイントやループの設定は解除されますので、あらかじめマスターテンポ、サンプラーの機能を選択してからキューポイントやループの設定をしてください。

拍子数(BPM)を測ってみよう

(タップBPMカウンター)



曲のビートに合わせて
BPM TAP / オートキューボタンを
5 ~ 6回押す

チューナーアンプの表示

3	2:15	45F
		120 BPM

👍😊 タップBPM表示について

- 測定できる範囲は、70 ~ 160BPMです。範囲外の場合は"----"表示を約2秒した後、元の表示に戻ります。
- 次の操作をするとBPMの表示は解除されます。
 - TAP / オートキューボタンを押した時
 - テンポを変えた時
 - リミックスをオフにした時
 - 電源を切った時

キューを使って瞬時に音出しをしよう (オートキュー、キューポイントメモリー、バックキュー)

オートキュー

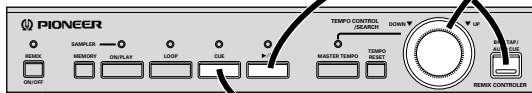
オートキューをオンにすると、次に演奏する曲の最初の音が出る位置で一時停止(キューポイントポーズ)するようになります。

BPM TAP / オートキューボタンを約2秒間押す

(チューナーランプの表示)

- AUTO CUE -

解除したいときはもう一度ボタンを約2秒押します。



キューポイントメモリー

すぐに音出ししたい位置をメモリーしておく、その位置から瞬時に演奏したり、キューボタンでそこへ戻ることができます。

1 演奏中に、キューポイントを設定したい位置で一時停止にする

音がとぎれとぎれに出ます。(音出しの一時停止)

2 ジョグをゆっくり回して音を聞きながら目的のキューポイントを探す

演奏を開始したい直前に合わせます。
(聞こえた音の直後がキューポイントになります。)

3 キューボタンを押す

- キューポイントがメモリーされて演奏待機になります。
- 音が出なくなり、キューボタンのインジケーターが点灯し、演奏/一時停止ボタンのインジケーターが点滅します。



プログラム演奏中は曲の最後から約5秒間の範囲ではキューポイントの設定は行なえません。



キューポイントを確認するには

キューポイント待機中(キューボタンのインジケーターが点灯)にキューボタンを押しつづけます。押し続けている間、キューポイントから演奏します。10秒以上押し続けたときは、キューポイントに戻り、演奏待機になります。



キューポイントを修正するには

- ① キューポイント待機中(キューボタンのインジケーターが点灯)にCDプレーヤーのサーチボタン(◀◀、▶▶)を押しつづけて、音が出たらすぐ手をはなす。キューポイントで音出しの一時停止になります。
- ② ジョグをゆっくり回して微調整する。
- ③ キューボタンを押す。

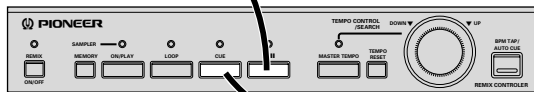
リミックスを楽しもう!!

オートキュー
キューポイントメモリー

キューポイントから演奏するには

キューポイント待機中（キューボタンのインジケーターが点灯）に、演奏/一時停止ボタンを押す

キューポイントから演奏します。



演奏中にキューポイントに戻すには（バックキュー）

キューボタンを押す

キューポイントに戻り、演奏待機になります。



キューポイントから演奏して、約10秒以内にバックキューを行うと、瞬時にキューポイントに戻ります。

10秒以内に

キュー 演奏/一時停止 キュー

演奏/一時停止 ...

をすばやく行うことで音声をループさせる効果が得られます。

10秒を越えていると瞬時の再スタートは行えません。

準備

基本操作

M D 編集

応用操作

リミックス

その他

気に入ったフレーズを連続リピートしよう (ループプレイ)

最小 1 秒から最大 10 秒までの 2 点間をとぎれなく繰り返し演奏します。

1 スタートポイントとしてキューポイントを設定する

- ① 音出しの一時停止にする。
- ② ジョグで微調整する。
- ③ キューボタンを押す。

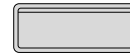
2 演奏/一時停止ボタンを押してキューポイントから演奏する

3 エンドポイントでループボタンを押す

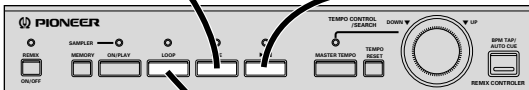


LOOP

ループインジケータ
が点灯します。



繰り返し演奏をはじめます。



ループプレイを解除するには

ループボタンを押す

ループインジケータが消灯して通常演奏に戻ります。



エンドポイントを精密に決めたいときは

手順 3 のときに次のように操作してください。

- ① エンドポイントで演奏/一時停止ボタンを押す。
- ② ジョグをゆっくり回してエンドポイントを探す。
- ③ エンドポイントが決まったらループボタンを押す。



ループプレイ中にキューボタンを押してバックキューしてもループのエンドポイントはメモリーされています。演奏/一時停止ボタンを押すと再びループプレイを開始します。



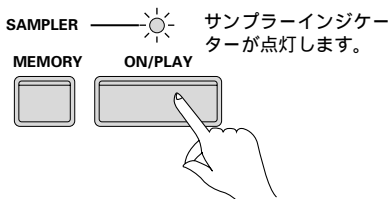
- ループプレイ中に他の曲を選曲したり、リピート演奏を設定した場合にはループプレイは解除されます。
- ランダム演奏中あるいはプログラム演奏中のループプレイはキューポイントを設定した曲内でしか行なえません。

リミックスを楽しもう!!

サンプラー録音 / 再生

気に入ったところをサンプル録音して、演奏に重ねよう (サンプラー録音 / 再生)

1 サンプラーオン/プレイボタンを押す

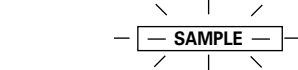


- マスターテンポはオフになります。
- メモリーしていたキューポイントは消されます。

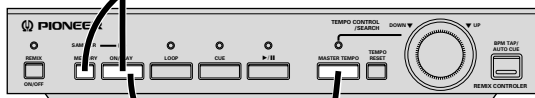
2 演奏中にサンプル録音したいところでサンプラーメモリーボタンを押す

サンプル録音をはじめます。
録音時間は約1.4秒です。
チューナーアンプ表示部のインジケーターが点滅します。

チューナーアンプの表示



録音が完了するとインジケーターは点滅から点灯に変わります。



サンプラーモードを解除するには マスターテンポボタンを押す

- サンプル録音した内容は消去されます。
- マスターテンポはオンになります。
- メモリーしていたキューポイントは消去されます。



サンプル録音操作をすると、前にサンプル録音していたものは消去されます。



● テンポを変えるとサンプラー再生の音程も変化します。

再生したいとき

- SAMPLE - が点灯しているときに
サンプラープレイボタンを押しつづける

- 押している間、再生します。
- 押すたびに最初から再生します。
- 最後まで再生すると停止します。



CD演奏中にサンプルモードにしてサンプラープレイボタンを押すとCD演奏にサンプラー再生音を重ね合わせることができます。
押すタイミングや長さを変えて効果をお楽しみください。



マスターテンポとサンプラーは同時には選択できません。
また、この機能を切換えたとき、キューポイントやループの設定は解除されますので、あらかじめマスターテンポ、サンプラーの機能を選択してからキューポイントやループの設定をしてください。

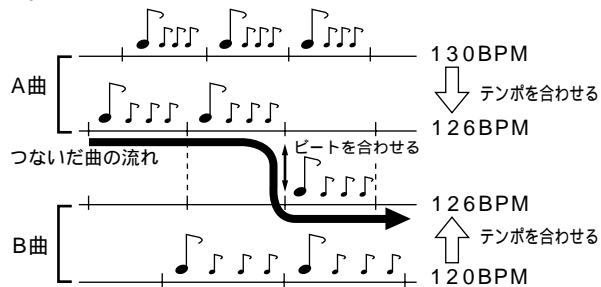


オリジナル・ノンストップ・MD を作ろう

次の2つの方法により、曲のテンポを合わせた曲つなぎができます。次々につないで自分だけのノンストップMDが作れます。

(例) CDのA曲とB曲のテンポとビートを合わせて、希望の位置でMDにつなぎ録りする。

曲を上手くつなぐにはテンポとビートを合わせる必要があります。



方法1: カットインレコ機能により曲と曲をつなぐ(リハール機能付)

方法2: MDのA-Bコンパイン編集で曲と曲をつなぐ(リハール機能付)

注意!!

- リミックスがオンの場合はMDはアナログ録音となります。アナログ録音の場合には、チューナーアンプの音質調整によりCDの音量が変化しますので、必ずMDの録音レベルの調整を行うようにしてください。



あらかじめ、これから作ろうとするオリジナルMDで使う曲のテンポをTAP BPMカウンターで測り、テンポをいくつにするかを決めておきます。

方法1

カットインレコ機能によりCDからMDへつなぎ録りする



1 MDレコーダーへ録音用MDを入れる

2 ファンクションをCDにしてリミックスをオンにする

3 前半の曲を演奏して、希望のテンポに合わせる

- テンポを変える。
 - BPM TAP / オートキューボタンを5~6回押してBPMを測る。
- 希望のテンポになるまで、手順1,2をくりかえします。

4 前半の曲の開始ポイントで、キューポイントを設定する (→ [P.60])

リミックスを楽しもう!!

MD カットインレコ

準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

5 前半の曲をMDに録音する

- アセスで自動録音するとき：
P.51 手順5～7を行ってください。
- マニュアル録音するとき：
P.33 手順4～7を行ってください。
つなぐポイントを5秒程過ぎたらMDレコーダー、
CDプレーヤーの両方を停止させてください。

6 後半の曲を演奏して前半の曲と同じテンポに合わせる

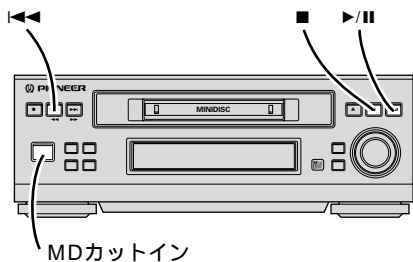
1. テンポを変える。
2. BPM TAP/オートキューボタンを5～6回押し
てBPMを測る。
希望のテンポになるまで手順1、2を繰り返します。

7 後半の曲のつなぐポイントでキューポイントを設定する

- (⇒ P.60)
- キューポイントを設定したら、キューボタンを押し
つづけて音を出し、つなぐポイントを確認してくだ
さい。

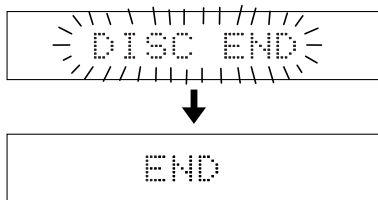
8 MDに録音した、前半の曲を再生する

- MDレコーダーのサーチボタン (◀◀) を押し
て曲のはじめに戻し、再生/一時停止ボタン (▶/||)
で再生をはじめます。



つなぐポイント(最後に録音を終了した付近)をすばやく探
すには
(ディスクエンドサーチ機能)

MDが停止中にMDカットインボタンを押します。



一時停止になります。

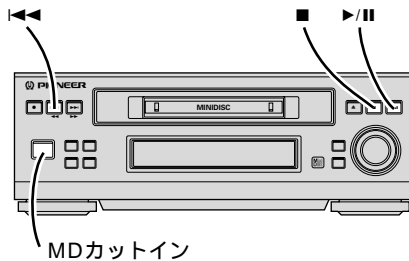
◀◀ボタンを押しつづけて(早戻し)つなぐポイントを越え
てしばらくしたらボタンをはなします。そこから再生にな
ります。

⇒ 次ページへ続きます。

9 MD 再生中につなぐポイントにきたら MD カットインボタンを押す

CUT-IN REC ?

- MDは一時停止し、CDはキューポイントから演奏します。つないだ状態の音が確認できます(リハーサル)。
- CDは最大10秒間演奏後、キューポイントに戻り、演奏待機になります。



希望どおりにつながらなかったときは

- ① 停止ボタン(■)を押す。
MDは一時停止、CDはキューポイントにもどり演奏待機となります。
- ② 再度、手順8、9を行う。

希望どおりにつながったとき

10 MD カットインボタンを押す

- つなぎ録りをはじめます。
- つなぎ録りを終了するときはMDの停止ボタンを押します。
MDは停止し、CDはキューポイントにもどり演奏待機となります。

11 つなぎ録りした曲を再生して確認する

サーチボタン(◀◀)を2回押して、曲の頭出しを行い、再生/一時停止ボタン(▶||)を押して再生をはじめます。



手順6~11を繰返すことにより、複数の曲をつなぎ録りして、ノンストップMDがつけれます。



- CDからMDに録音中もCDのテンポを調整できます。つなぐポイント付近でテンポを合わせ、その後オリジナルのテンポに戻したりすることができます。
- 手順7でループを設定した後にキューポイントで一時停止ししておくでループでカットインレコが行えます。ループで録音中に[LOOP]ボタンを押すとループを解除できます。ループでカットインレコする場合でもリハーサルの音声はループしません。



- つなぎ録りを開始した位置以降の曲はすべて消えてしまいます。ご注意ください。
- 前半の曲以降に消たくない曲がある場合には、ムーブ機能を使って前半の曲をいちばん最後に移動させてから、つなぎ録りを行ってください。(P.143)
- カットインレコ機能ではMDのオートマーク機能はオフとなります。
- MDがモノラル録音でのカットインレコは希望どおりにつながりません。ステレオ録音で行なってください。

リミックスを楽しもう!!

MD カットインレコ

方法 2

MD の A-B コンバイン編集で曲と曲をつなぐ



1 MDレコーダーへ録音用MDを入れる

2 ファンクションをCDにしてリミックスをオンにする

3 前半の曲を演奏して、希望のテンポに合わせる

1. テンポを変える。
2. BPM TAP / オートキューボタンを5~6回押してBPMを測る。
希望のテンポになるまで、手順1,2をくりかえします。

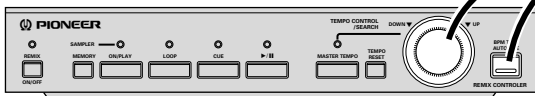
4 前半の曲の開始ポイントで、キューポイントを設定する (→ [P60])

5 前半の曲をMDに録音する

- アセスで自動録音するとき：
[P51] 手順5~7を行ってください。
- マニュアル録音するとき：
[P33] 手順4~7を行ってください。
つなぐポイントを約10秒程過ぎたらMDレコーダー、CDプレーヤーの両方を停止させてください。

6 後半の曲を演奏して前半の曲と同じテンポに合わせる

1. テンポを変える。
2. BPM TAP / オートキューボタンを5~6回押してBPMを測る。
希望のテンポになるまで手順1, 2を繰り返します。



準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

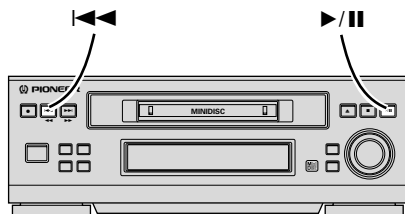
☞ 次ページへ続きます。



- 7** 後半の曲のつなぐポイントから約10秒以上前の任意の位置でキューポイントを設定する

8 後半の曲を MD に録音する

- アセスで自動録音するとき：
[P.51] 手順 5 ~ 7 を行ってください。
- マニュアル録音するとき：
[P.33] 手順 4 ~ 7 を行ってください。
つなぐポイントを10秒程過ぎたらMDレコーダー、CDプレーヤーの両方を停止させてください。

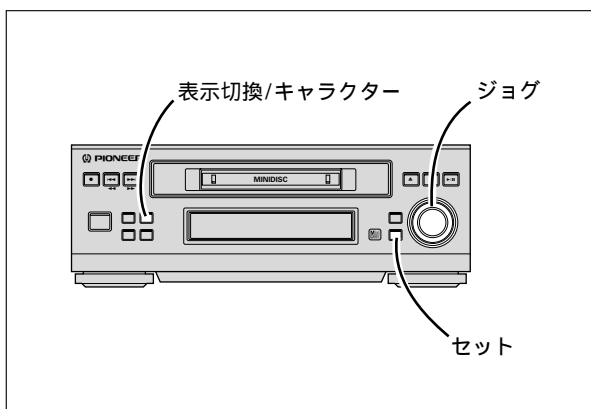
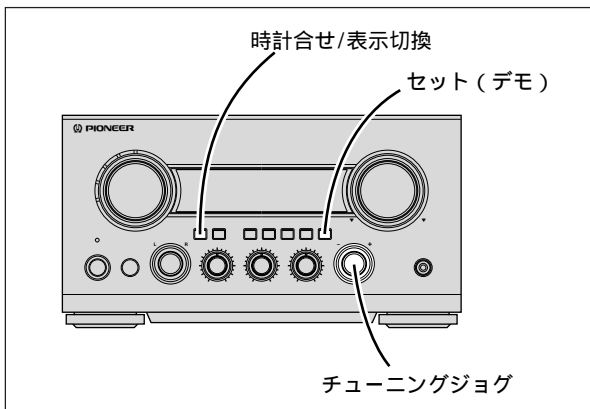


9 MD に録音した、前半の曲を再生する

MDレコーダーのサーチボタン(◀◀)を2回押して曲のはじめに戻し、再生/一時停止ボタン(▶||)で再生をします。

- 10** 前半の曲のつなぐポイント(A点)、後半の曲のつなぐポイント(B点)として、A-Bコンバイン編集を行う (→ [P.42])

表示部のコントラストの調整のしかた



チューナーアンプ表示部のコントラスト調整のしかた

- ① 電源が入っているときに時計合せ / 表示切換ボタンを約 5 秒間押しつづける。

CONTRAST 14

- ② チューニングジョグを回して希望のコントラストを選ぶ。

CONTRAST 15

- ③ セット(デモ)ボタンを押す。
コントラストの調整が終了します。

コントラスト調整を途中で中止するには

コントラスト調整中に時計合せ / 表示切換ボタンを押します。

MDレコーダー表示部のコントラスト調整のしかた

- ① 電源が入っているときに表示切換 / キャラクターボタンを約 5 秒間押しつづける。

CONTRAST 14

- ② ジョグを回して希望のコントラストを選ぶ。

CONTRAST 15

- ③ セットボタンを押す。
コントラストの調整が終了します。

コントラスト調整を途中で中止するには

コントラスト調整中に表示切換 / キャラクターボタンを押します。

電源コードをコンセントから抜いたりした後は、チューナーアンプ、MDレコーダーとも設定したコントラストは解除されます。その場合は再度コントラスト調整を行ってください。

準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

故障？ちょっと調べてください

- 故障かな...?と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症 状	原因と思われること	処 置
全 て に 共 通	使用中に電源が切れてしまう。	● 放熱ファンの吸い込み口をふさいでいる。	● 設置しなおしてください。 P.5
	音がでない。	● 電源プラグがはずれている。 ● すべてのコードが完全に接続されていない。 ● 入力切替が正しく選択されていない。 ● デモモードになっている。	● 電源プラグを正しく接続する。 ● 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 ● 聞きたい機器を選択する。 ● デモモードを解除する。 P.76
	正しく動作しない。	● 電源プラグを差したまま、フラットケーブルを抜き差しした。	● 電源プラグを一度抜いて、差しなおす。
C D 関 係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	● ディスクの裏表を逆にセットしている。 ● ディスクに汚れやくもりなどがある。 ● ディスクに大きなキズやソリなどがある。	● ディスクのレーベル面(印刷のある面)を上側にし、正しくセットする。 ● ディスクをクリーニングする。 ● ディスクを交換する。
放 送 関 係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	● アンテナが接続されていない。 ● アンテナの向き、位置が悪い。 ● 電気器具(蛍光灯、ドライヤーなど)を使用している。 ● ステップ周波数が合っていない。	● アンテナを正しく接続する。 ● アンテナの向きや位置を調整する。 ● 雑音を発生させる機器の使用をやめるか、アンテナを離す。 ● ステップ周波数を合わせる。 P.22
	放送がステレオなのにステレオにならない。	● 表示部のモノインジケータが点灯している。	● モノボタンを押してモノインジケータを消灯する。 P.21
テ ー プ 関 係	カセットトレイが開かない。	● テープ走行中にチューナーアンプの電源コードを抜いた。	● 電源コードを入れ直す。
	録音ができない。	● 誤消去防止用ツメが折れている。	● テープを交換するか、またはツメの部分にセロハンテープを貼って穴をふさぐ。 P.18
	音がこもる。録音済みのテープの上から重ねて録音したとき、前の音が残る。	● ヘッドが汚れている。	● ヘッドを清掃する。 P.18
	音がこもる。高音が強すぎる。	● ドルビー NR 切替ボタンが録音したときと同じになっていない。	● ドルビー NR 切替ボタンを切り換える。
	ミュージックサーチ(MS)ができない。	● 曲間の無録音部分が4秒以上ないテープを使用している。	● 無録音部分が4秒以上あるテープを使用する。

故障? ちょっと調べてください

	症 状	原因と思われること	処 置
M D 関 係	録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● MD が誤消去防止状態になっている。 ● 再生専用 MD を入れている。 ● TOC がいっぱいになっている。(録音、編集を繰返すと、このようになることがあります。) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤消去防止つまみを閉じる。 ● MD を入れかえる。 ● 全曲消去を行えば新たに録音できます。
	モノラルで録音されてしまう。	● モノラル長時間モードになっている。	● 録音モードをステレオモードにする P.37
	MD を入れても “NO DISC” と表示される。	● ディスクにキズが付いている。	● MD を入れかえる。
	音がとぎれる。	● MD レコーダーが結露している。	● 1 時間程待ってから再生する。
	短い曲を消しても録音の残り時間が増えない。	● 12 秒以下の短い曲は曲として数えないことがある。	● 故障ではありません。
	録音時間と残り時間をたしても最大録音可能時間にならない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 最小録音単位が 2 秒のため、これに満たない曲でも 2 秒のスペースを使っているのでは合わないことがある。 ● ディスクにキズがあり、録音不可の部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。 ● MD を入れかえる。
	コンバイン、A-B コンバイン編集で曲と曲をつなげない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音、編集をくり返したディスクでこのようになることがある。 ● デジタル録音とアナログ録音の曲をつなごうとしている。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲をつなごうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。 ● デジタルと、アナログはつなげません。 ● ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲はつなげません。

MD に関する表示については 32 ページにも説明がありますので、ご覧ください。

リ ミ ッ ク ス 関 係	リミックスがオンにならない。	● ファンクションが CD 以外になっている。	● ファンクションを CD にする。
	CD のオートキューがオンの時にサーチしたときに曲の頭出しが終了しない。	● 曲の頭の無音部分が長い場合キューポイントが見つからない。	● しばらくすると通常の演奏をはじめる。
	CD 演奏中にキューボタンを押してもバックキューしない。	● キューポイントを設定していない。	● キューポイントを設定して、キューインジケータを点灯させる。
	CD の一時停止やキューポイントで演奏待機させていたが、いつのまにか停止している。	● 一時停止やキューポイントで演奏待機させてから約 1 時間経過すると自動的に停止になります。	● 再度希望の操作を行なう。

そ の 他	タイマーが動作しない。	● 現在時刻の設定がされていない。	● 現在時刻を設定する。
	リモコンがつかない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの電池がなくなっている。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に換える。 ● 蛍光灯をリモコン受光部から離す。
	デッキ、CD プレ - ヤ - 、MD レコ - ダ - の電源が入らない。	● システムケーブルの接続が不完全。	● 確実に接続する。

- テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

日ごろのお手入れ

カセットデッキのヘッドの消磁

長時間カセットデッキを使ったり、磁石やドライバーなどを近づけると、ヘッド部が磁化され、雑音が発生したり高音が低下する原因となりますので、市販のカセットタイプのヘッドイレーサーで定期的にヘッドを消磁してください。

ヘッドの消磁をするときは、本機の電源をオンにして、アンプの音量は必ず最小にしてください。またヘッドホンのプラグは端子から抜いておいてください。

CDレンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕様

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ステレオチューナーアンプ : SX-R9

アンプ部
 実用最大出力 (EIAJ)
 1kHz、10%、8Ω 50W + 50W
 FM チューナー部
 受信周波数 76.0 ~ 108MHz
 アンテナ 75Ω 不平衡型
 AM チューナー部
 受信周波数 522kHz ~ 1,629kHz (9kHz ステップ)
 530kHz ~ 1,700kHz (10kHz ステップ)
 アンテナ ループアンテナ (付属)
 電源電圧 AC100V、50/60Hz
 消費電力 (電気用品取締法) 97W
 外形寸法 210(幅)×112.5(高さ)×307(奥行)mm
 質量 5.2kg

コンパクトディスクプレーヤー : PD-R9

型式 コンパクトディスクオーディオシステム
 使用ディスク コンパクトディスク
 チャンネル数 2チャンネル (ステレオ)
 周波数特性 4Hz ~ 20kHz
 SN比 110dB(EIAJ)
 ワウ・フラッター 測定限界以下
 外形寸法 210(幅)×75(高さ)×274(奥行)mm
 質量 1.8kg

リミックスコントローラー : EF-R5

外形寸法 210(幅)×37.5(高さ)×272(奥行)mm
 質量 1.1kg

ステレオカセットデッキ : CT-R5 (別売)

トラック方式 4トラック 2チャンネルステレオ
 周波数特性
 TYPE I (ノーマル) テープ
 * 20Hz ~ 16,000Hz ± 6dB
 TAPE II (HIGH / クローム) テープ
 * 20Hz ~ 16,000Hz ± 6dB
 SN比 * 55dB
 (EIAJ / ピーク録音レベル、メタル、聴感補正)
 DOLBY B タイプ NR ON 5kHzで10dB改善
 ワウフラッター ± 0.07% WRMS (JIS)
 外形寸法 210(幅)×75(高さ)×269.5(奥行)mm
 質量 2.0kg

* 印は日本電子機械工業会 (EIAJ) 規格に定められた測定方法による数値です。

ミニディスクレコーダー : MJ-R5

記録方式 磁界変調オーバーライト方式
 再生方式 非接触光学式
 サンプリング周波数 44.1 kHz
 周波数特性 20 Hz ~ 20 kHz
 SN比 98 dB
 ワウフラッター 測定限界以下
 外形寸法 210(幅)×75(高さ)×279.5(奥行)mm
 質量 2.0kg

本機はドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

スピーカーシステム :

S-R3V-LR

型式 16cm2wayブックシェルフ型、防磁設計 (EIAJ)
 使用スピーカー (2ウェイ方式)
 低音用 (ウーファー) 16cm (コーン型)
 高音用 (トゥイーター) 2.5cm (ドーム型)
 公称インピーダンス 8Ω
 再生周波数帯域 38 ~ 20,000Hz
 最大入力 100W (EIAJ)
 外形寸法 222(幅)×400(高さ)×250(奥行)mm
 質量 5.0kg

* 「防磁設計 (EIAJ)」とは、(社)日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

付属品

保証書 1
 取扱説明書 1
 安全上のご注意 1
 ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
 FM アンテナ 1
 AM ループアンテナ 1
 リモコン 1
 単3形乾電池 (R6P) 2
 スピーカーコード (スピーカーに付属) 2
 光ファイバーケーブル 1

準備

基本操作

MD編集

応用操作

リミックス

その他

アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

- 保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。テープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

● 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのバイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

お願い

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

MDのネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y
Z . , / □

アルファベット（小文字）

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y
z . , / □

数字・記号

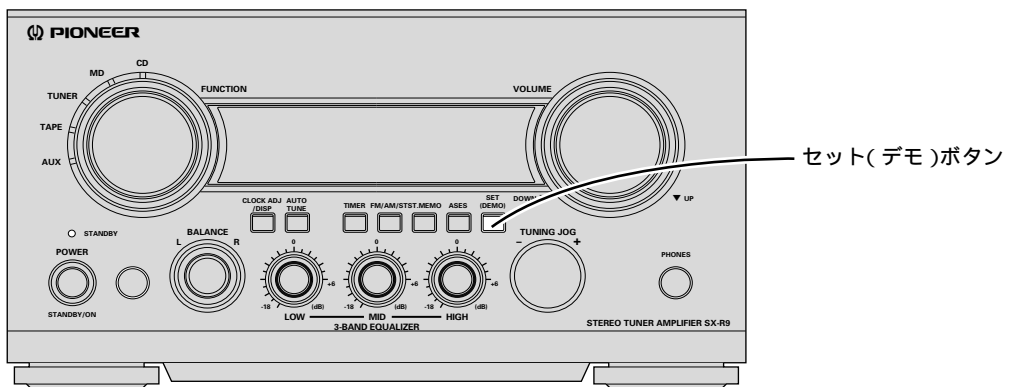
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$ % & ' () * + , - . /
: ; < = > ? @ _ ` □ □

カタカナ

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワラン
アイウエオヤユヨツ[°] (濁点)
□ (半濁点) - (長音) / (スラッシュ) □ (空白スペース)

デモモードについて

- 電源プラグをコンセントに接続するとデモモードになり電源オンになります。電源オフのときにSET (DEMO) ボタンを約3秒間押しつけても、デモモードになり電源オンになります。デモモードではこのシステムのバラエティーに富んだ機能が表示部に表示されます。
- デモモードを解除するには、本機及びリモコンの電源オンに関するボタン(P.20)または、本機のSET (DEMO) ボタンを約3秒間押しつけてください。
- 電源プラグをコンセントに接続したときにデモモードに入らないようにするには、デモモード表示中にSET (DEMO) ボタンを約3秒間押しつけてください。



お客様ご相談窓口（修理に関しては別添「ご相談窓口・修理窓口のご案内」参照）

お客様相談センター - TEL 03・3491・8181

技術相談窓口 ○札幌 TEL 011・644・4779 ○大阪 TEL 06・353・3705
○仙台 TEL 022・375・4417 ○広島 TEL 082・228・2239
○名古屋 TEL 052・532・1141 ○福岡 TEL 092・441・8076

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。